

淵野辺公園の指定管理者が行う業務及び管理の実施基準

資料6

1 「淵野辺公園の管理に関する仕様書 3(1)～(3)運営業務」関連

本表に掲げる頻度については、最低限とする。

業 務 の 内 容			頻度等			
大分類			小分類	数量・範囲	頻度	備考
公園全般の運営	ア	平等利用の確保	利用者の平等・公平を図る。			
	イ	職員体制の確立	淵野辺公園管理事務所は銀河アリーナ事務室を兼ねるため、管理事務所に配置する人員については、「銀河アリーナの管理に関する仕様書」を参照。そのほか、公園施設運営の確実な実施に必要とされる人員を配置すること。この際、専門的な知識・技術を有する者の配置についても考慮すること。			
	ウ	利用者等のニーズの把握	利用者や地域住民のニーズを的確に把握し、質の高いサービス提供等、施設管理への反映を図る。	利用者満足度調査		1回/年
	エ	要望・苦情対応	迅速な対応を取り適切な処理を行う。			
	オ	情報提供	窓口に施設案内用パンフレットや料金表などを配架し、施設情報の発信を図る。市民にイベント開催時期等の施設情報の発信を図る。			平成31年度早期に施設案内用パンフレットを作成すること。 （銀河アリーナ及び相模原球場についても同様とする）
	カ	研修の実施	職員の育成及び運営に必要な研修を実施し、常にスキルアップを図る。			
	キ	園内の巡回	随時園内を巡回し、施設の異常個所の早期発見や、不適切な利用（自転車の乗り入れ、ノーリードでの犬の散歩、歩行喫煙や喫煙場所以外での喫煙等）を行っている者への指導を行う。			
	ク	駐車場等の整理	目的外駐車や公園周辺道路への違法駐車対策及びイベント・大会等混雑時における駐車場等の整理を行う。			
	ケ	行為の制限・禁止	相模原市都市公園条例第3条及び第5条を良く理解し、禁止行為を見つけた際には注意を行うとともに、行為の制限については、必要に応じて手続き等の説明を行う。			
	コ	行為の制限の解除に関する受付・連絡調整	相模原市都市公園条例第3条に基づく行為の制限の解除に関する受付及び市との連絡調整を行う。			
サ	利用の禁止・制限	相模原市都市公園第6条により、やむを得ないと認められる場合には、区域を定め、利用の禁止又は制限を行う。				

運動施設の運営	シ 業務報告・連絡調整	管理日誌の作成及び日々の利用状況等の報告資料の作成。 業務処理状況の記録及び毎月の報告書の提出。 事故・災害等緊急事態が発生した場合における迅速、適正な対応・処理及び報告を行う。 警報発令時における警戒配備態勢の設置。（災害時業務マニュアルを参考）	管理日誌の作成・報告		毎日	
			苦情処理対応や要望処理状況の記録・報告		随時	提出は、月毎
			事故・災害時の対応		随時	
			急病・犯罪等の事故報告		随時	
			自然災害時の警戒配備態勢等		随時	
	ス 利用者のサービスの増進	公園利用者の利便性を図ることを目的に自動販売機などを設置すること。 ただし、別途、指定管理者には、設置に係る市への許可申請及び許可にともなう使用料の負担が必要。				現在の受託者に自動販売機の設置を許可している。
	ア 利用承認・予約管理・受付	テニスコート、少年野球・ソフトボール場の申請受付は、原則としてSネットにより行うが、Sネット未登録者については窓口にて利用承認を行っている。 大会等の際の専用利用については、利用者が指定管理者に申請書を提出し、指定管理者が承認を出すこととなっている。 当日の利用受付にあたっては、予約一覧表を毎朝業務用端末より打ち出し、利用者の来園に備える。 雨天等で利用できなかった予約については、還付のための処理を行う。 施設の管理上適当でないと認められる者があるときは、法・条例に基づき、その入場を拒み、又は退場させるなどの対応をとること。	利用承認		随時	有料公園施設（一般・専用）
			当日の受け付け		随時	
			還付処理		随時	
			入場の制限		随時	
	イ 使用料徴収・納付	使用料の徴収は、原則としてSネット業務端末を利用して行う。 当日予約者及び引き落とし不能者の使用料については窓口徴収とする。 徴収した現金については、市の公金管理基準に従った管理を行い、金融機関の非営業日等を除き、原則として毎日納付する。	使用料徴収		随時	
			銀行への納付		5回/週	
	ウ 大会等実施の協議・調整	公園管理者として、必要備品の準備、他の利用者への案内や安全確保等について配慮するとともに、大会主催者と協議・調整を行う。			随時	
	エ 体育の日無料開放の実施	市との共催事業として、毎年、体育の日はテニスコートを個人に充て、その個人利用に限り施設を無料で開放すること。なお、市は当該事業に係る施設使用料に相当する金額の補償は行わない。			1回/年	

	オ	ネーミングライツ（施設命名権）導入に伴うスポンサーメリット対応業務	<p>湍野辺公園少年野球・ソフトボール場（ひばり球場）で導入される施設命名権に伴い発生するスポンサーメリット対応業務について、市と協議のうえ行うこと。</p> <p>（１）施設命名権その他の権利運用に伴う連絡調整 市と施設命名権者との間で締結した契約書等に定める事項を遵守し、市及び施設命名権者との連絡調整を綿密に行い、付与された権利の運用を適切に行うとともに、スポンサーメリットが最大限発揮されるよう努めること。</p> <p>（２）国際大会等で商業権が主催者に属する場合には、主催者の指示に従い企業名や広告を一時的に遮蔽すること。</p> <p>（３）湍野辺公園少年野球・ソフトボール場（ひばり球場）で大規模な大会等が開催される場合や劇場映画や企業ＣＭ等のロケ地として活用される場合には、適宜、市と情報共有を図るとともに、その実績について月次報告書等で報告すること。</p>			随時	
提案	ア	施設の供用時間の変更	<p>施設の運営の中で生じた提案については、市に対して提案することができる。</p> <p>指定管理者の判断により、公園の設置目的及びスポーツ振興計画にのっとった事業（教室）を行うことができる。</p>				
	イ	事業の実施・利用促進方策					
	ウ	その他、公園の運営に関する事項					

2 「淵野辺公園の管理に関する仕様書「4(2)～(4)維持管理業務」関連

本表に掲げる頻度については、最低限とする。

業務の内容				頻度等			
大分類		概要	小分類	数量・範囲	頻度	備考	
清掃・点検等施設の維持管理	ア	管理事務所の管理	施設や設備を常に正常に保持し、適正な利用に供するように随時点検を行い、必要に応じて補修や修繕を行うこと。 点検や修繕の際には、利用者の安全確保を行うこと。 利用者が訪れる場所は、毎日清掃を行い、埃などが溜まらないようにすること。 定期清掃では、窓ガラスの清掃、床のワックスがけ、照明、ブラインドの清掃も行うこと。 自動体外式除細動器（AED）を配備すること。	点検	1箇所	随時	銀河アリーナ内 （公園管理事務所）
			鍵施錠・開錠	毎日			
			日常清掃	毎日			
			定期清掃	年2回			
			自動体外式除細動器 (AED)の配備	2台	通年	・AEDは、定期的に作動 チェック等のメンテナンスを行 い、電池・パッド等の消耗品に ついて必要に応じて交換するこ と。 ・職員に対してAEDの使用方 法や、救急救命の研修を含めた 訓練を行うこと。	
	イ	トイレの管理	便器、床、洗面台に汚れや垢等が残らないようにすること。また、 臭気も残らないようにすること。 トイレトーパー、防臭剤、水石鹸等の衛生材料は欠かすことが ないように補充を行うこと。	点検	3箇所	1回/日	屋外：3箇所
				鍵施錠・開錠		毎日	
				清掃		毎日	
				ペーパー交換		随時	
	ウ	水飲み場の管理	常に衛生的に保たれるようにする。	清掃・点検	7箇所	毎日	
	エ	手洗・足洗場の管理	常に衛生的に保たれるようにする。	清掃・点検	3箇所	毎日	
	オ	園路・広場等園内の管理	施設や設備を常に正常に保持し、適正な利用に供するように随時点検を行い、必要に応じて補修や修繕を行うこと。 点検や修繕の際には、利用者の安全確保を行うこと。 園内のゴミ拾いを行うこと。その際に落葉等も清掃すること。 落葉等については、随時掃き集める（清掃を行う）こと。	点検		毎日	ジョギングコース：1,800m 中央広場：20,000㎡
				園内清掃		毎日	
	カ	ベンチ・野外卓・東屋 （シェルター含む）の管理	施設及び設備を正常に保持し、適正な利用に供するよう日常的に点検を行い、必要に応じた部品交換や施設の補修・修繕を行うこと。	点検・修繕	159基	随時	東屋：3基（シェルター：2基） 野外卓：9基 ベンチ：147基（サークル：1基）

キ	遊戯施設の管理	遊具については、「都市公園における遊具の安全確保に関する指針（改定第2版）」（平成26年6月国土交通省）及び「遊具の安全に関する基準」（2014年6月 一般社団法人日本公園施設業協会）に基づき点検を行う。	点検	7基	随時	木製複合遊具：4基（風っこ砦、船形、電車型、家型） バネ遊具：2基 バスケットゴール：1基
ク	樹・排水溝の管理	側溝・集水樹・浸透樹等の性能を回復するため、溜まったゴミや土砂等は取除く。落葉期間に外周道路の落ち葉を清掃する。なお、集水樹等の浚渫を行う際には、土砂等の空間放射線量の測定を行い、市の基準に応じた処理を行うこと。	点検		4回/年	
			清掃		随時	
ケ	作業用具の手入れ	用具等は常に必要な手入れを施し、物置内の整理整頓をする。			随時	
コ	駐車場・駐輪場の管理	日常点検及び大会開催時の利用者整理等。 目的外駐車や公園周辺道路への違法駐車対策。 放置自転車及び放置車両については、盗難届け及び防犯登録を所管の警察署に確認後報告すること。	日常点検		毎日	第1駐車場：255台 （身障者用6台） 第2駐車場：60台 駐輪場：4箇所（450台）
			鍵施錠・開錠	1箇所	毎日	
			閉鎖時間告知看板の交換		随時	
			違法駐車対策		随時	
			放置自転車届出事務		随時	
サ	保守点検	関係法令の基準に従い法定・定期・日常点検等の状況を常に把握し作業にあたること。 時計については、毎日時報等で確認し、正確性を保つこと。	放送設備の保守点検	1式	1回/年	野球場・管理事務所
			園内灯保守点検	147基	随時	
			時計台	14基	随時	
			インターホンの保守点検		1回/年	
			スポーツトラクターの点検・整備		1回/月	
			特殊建築物等定期点検（ひばり球場）			
ア	テニスコートの管理	日常管理及び定期整備。 利用に際し、利用者が快適に利用できるように、施設の状態には常に気を配り、必要に応じて適正な管理を行うこと。	点検	全面	1回/日	1日の供用開始前に行う。
			コートへのブラシがけ	全面	1回/日	1日の供用終了後に行う。
			砂の補充	全面	随時	ブラシがけと併せて行う。

運動施設の維持管理	イ	テニスコートの維持補修業務	砂入り人工芝コートの砂のほぐし及び掘起しを実施すること。テニスコートの管理に十分な実績を持つ専門の業者への委託等により実施すること。		全面	1回/年	コートの状態を確認して実施すること。利用者への影響を考慮し、休場日等を活用して行うこと。
	ウ	ひばり球場の管理	日常管理・定期整備・芝生の管理。 利用に際し、利用者が快適に利用できるように、施設の状態には常に気を配り、必要に応じて適正な管理を行うこと。 冬期整備については、利用に配慮しながら内野部分について行う。	点検	1面	1回/日	供用期間のみ、供用開始前に行う。
				ライン引き・トンボがけ	1面	6回/日	供用期間のみ、各コマの供用前に行う。
				晴天時の水撒き	1面	随時	
				不陸整正	1面	随時	
				砂補充及び転圧	1面	随時	
				観客席の清掃	1面	随時	落葉の多い秋は、多目に行う。
				芝刈り	1面	1回/月	芝の生育の早い夏は、多目に行う。
	エ	ひばり球場の維持補修業務	指定管理期間中に1回以上、内野グラウンドの維持補修（混合土の入替、不陸整正、転圧、ベース交換、スポーツポイントの設置等）を実施すること。野球場等の管理に十分な実績を持つ専門の業者への委託等により実施すること。		1面		平成33年度を目安に、グラウンド状況を見つつ実施すること。利用者への影響を考慮し、冬季閉鎖期間等を活用して行うこと。
樹木等の育成管理	ア	樹木の管理	倒木等で公園利用者の安全が脅かされないようにするため、高木・中木の剪定、伐採や頭詰めについては、年度ごとの計画を策定し、それに基づき計画的に実行していくこと。 剪定等については、針葉樹の場合は萌芽力を損なわないように芽摘みを行い、花木類の場合は、花芽分化の時期に注意すること。 枯枝、折枝、建築限界を侵して人や車に接触するおそれのある低い枝（危険枝）、公園利用者等の視界を妨げる枝（支障枝）、病害虫に侵され、治癒や駆除ができない枝（病虫害枝）等については、年度計画問わず、その危険度合いにより、出来るだけ速やかに対応すること。 植栽については、定期的に刈り込みを行うこと。 害虫等が発生した際に散布する薬剤は、農薬取締法上で人畜無害及び魚毒性の低いもので、腐食性・引火爆発性のない安全性が高いものを使用し、関係法令に従って実施すること。	剪定（高木）	約1,400本	随時	管理上の支障枝について適宜実施
				剪定（中木）	約500本	随時	管理上の支障枝について適宜実施
				刈込（低木・たま物・生垣）	約15,000㎡	随時	雑木・低木
				枯損木の撤去		随時	
				病虫害防除		随時	「住宅地等における農薬使用について」に従い実施する。
	イ	芝地の管理	刈り込み前に、小石、ゴミなどを取り除く。 芝刈機械で均一に刈り込み、剪除した茎葉は速やかに処分をする。 樹木の根際、構造物周りなどについては、手刈りとする。	芝刈り	11,000㎡	4回/年	
				追肥・エアレーション等		3回/年	

ウ	その他園内の管理	<p>除草については、フォーク等を用い人力で根ごと除去し、機械を使用する場合は肩掛式を使用すること。樹木や施設の損傷に注意しつつ、刈り残しやムラのないよう均一に刈り込み、つる性雑草も除去すること。</p> <p>作業に伴って出た発生材は園内処理の場合、毎日所定の箇所に集積し、刈り後は園路等に散乱した草の清掃等を行うこと。</p>	草刈		3回/年	機械により行う。
			抜根	10,000㎡	3回/年	
			除草		3回/年	

銀河アリーナ 指定管理者が行う業務及び管理の実施基準

一 清掃実施基準

1 清掃箇所と面積

「3 清掃面積表」を参考に、業務を実施すること。なお、実施する際は利用者に不快の念を抱かせることのないよう、作業時間帯や作業内容に留意すること。

2 実施基準

(1) 日常清掃

1日に1回以上の頻度で行い、共用部分や当該日の開放場所に応じた清掃を行う。特に、更衣室、シャワー室、トイレ等の水周りについては、臭気の発生を未然に防ぎ、常に衛生的な環境を保てるよう留意すること。また、消耗品を適切に補充すること。

《日常清掃の範囲》

- ア 施設入口周辺及び通路、階段、エレベーター等の共用部分
- イ 更衣室、シャワー室、トイレ等の水周り
- ウ 建具、壁面清掃
- エ 当日の開放施設・用具
- オ 流し、鏡、衛生陶器、備品、マット、衛生消耗品補充、灰皿清掃
- カ 塵芥処分、塵芥容器清掃

(2) 定期清掃

日常清掃のほか、次に掲げる箇所について、定期的に清掃を行う。

- ア 表面洗浄、ワックスがけ、しみ取り
- イ 照明器具、空調吹出口、ブラインド清掃
- ウ 外周部ガラス、側溝

(3) 業務内容

ア 清掃業務における作業内容は、概ね次のとおりとする。

種 別	主な作業内容
弾性床及び硬質床	除塵、水拭き、補修、洗浄（ワックス掛け）
繊維床	除塵、しみ取り、補修（スポットクリーニング） 洗浄（全面クリーニング）

床以外の清掃	壁、手摺、金属	部分拭き、除塵
	フロアマット	除塵、洗淨
	扉ガラス	部分拭き、洗淨
	什器備品、建具、鏡	除塵、拭き
	ゴミ箱、灰皿	塵芥処理、容器清掃
	建具、鏡	除塵、拭き
	衛生陶器、水周り品	洗淨、拭き
建物外側	窓ガラス洗淨	
	玄関周り・構内の除塵、掃きとり	

イ 水周りの清掃

シャワー室等の水周りについては、適時の清掃を行い、湿気対策を充分に行い、苔、カビの発生を未然に防ぎ、日常清掃の他に適時に清掃を行うこと。

ウ 屋根雨樋の清掃について

屋根雨樋については、堆積している落ち葉等を除去するため、定期的に清掃を行うこと。

3 清掃面積表

1 階				2 階			
区 分		床 材	数量 (㎡)	区 分		床 材	数量 (㎡)
1 階	事務室	ビニール系タイル	94	2 階	廊下 (1)	ビニール系シート	88
	事務室倉庫	ビニール系タイル	18		男子便所 (更衣室側)	磁器室モザイクタイル	19
	応接室	ビニール系タイル	32		男子便所 (サブ側)	磁器室モザイクタイル	25
	湯沸室 (1)	ビニール系シート	5		女子便所 (更衣室)	磁器室モザイクタイル	30
	湯沸室 (2)	ビニール系シート	3		女子便所 (サブ側)	磁器室モザイクタイル	25
	事務室通路	ビニール系タイル	36		エレベーターホール	ビニール系シート	18
	倉庫 (1)	ビニール系タイル	8		階段 E	ビニール系シート	26
	倉庫 (2)	ビニール系タイル	8		身障者便所	磁器室モザイクタイル	3
	倉庫 (3)	ビニール系タイル	17		ホール	ビニール系シート	64
	職員ロッカー室	ビニール系タイル	21		採暖室	合成樹脂塗り	53
	職員休憩室	フローリング/畳	25		湯沸室	ビニール系シート	4
	前室	ビニール系タイル	5		廊下 (更衣室側)	ビニール系シート	90
	会議室	タイルカーペット	94		職員便所 (男女)	磁器室モザイクタイル	6
	職員更衣室	ビニール系タイル	2		階段 A	ビニール系シート	19
	話所 (1)	ビニール系タイル	19		階段 B	モルタル塗り	10
	話所 (2)	ビニール系タイル	14		階段 C	モルタル塗り	10
	男子職員便所	磁器室モザイクタイル	8	3 階	リンクサイド	ゴムマット	500
	女子職員便所	磁器室モザイクタイル	8		ロビー	石器質タイル	109
	トレーニング室	ビニール系シート	292		ホワイエ	床面塗料	243
	風除室 (1)	石器質タイル	20		男子便所 (2箇所)	磁器室モザイクタイル	40
	風除室 (2)	石器質タイル	6		女子便所 (2箇所)	磁器室モザイクタイル	52
	玄関ホール	石器質タイル	190		身障者便所	磁器室モザイクタイル	4
	ラウンジ	石器質タイル	83		会議室	ビニール系シート	81
	医務室	ビニール系シート	34		倉庫 (6)	ビニール系シート	9
	階段 A	ビニール系タイル	18		階段 A	ビニール系シート	19
	階段 B	モルタル塗り	7		階段 B	モルタル塗り	10
	階段 C	モルタル塗り	6		階段 C	モルタル塗り	10
	階段 E	ビニール系タイル	9		階段 D	モルタル塗り	9
	貸靴ホール	石器質タイル	98	4 階	階段 A	ビニール系シート	11
	貸靴スペース	石器質タイル	89		階段 B	モルタル塗り	4
	エレベーターホール	石器質タイル	81		階段 C	モルタル塗り	4
	エレベーター (1)	ビニール系タイル	2		階段 D	モルタル塗り	9
	男子便所	磁器室モザイクタイル	30	観客席	観客席	床面塗料	921
	女子便所	磁器室モザイクタイル	34		観客席通路	床面塗料	267
	身障者便所	磁器室モザイクタイル	4		身障者用席	床面塗料	12
	公園用ラウンジ	石器質タイル	210	屋外	屋外階段 A	石器質タイル	165
	倉庫 (4)	ビニール系シート	9		屋外階段 B	石器質タイル	207
	倉庫 (5)	ビニール系シート	4		外回り	石器質タイル	2,914
	男子ロッカー室	ビニール系タイル	32				
	男子シャワー室	磁器室モザイクタイル	13				
	男子更衣室	ビニール系タイル	18				
	女子ロッカー室	ビニール系タイル	37				
	女子シャワー室	磁器室モザイクタイル	14				
	女子更衣室	ビニール系タイル	15				
	レストラン	石器質タイル/フローリング	119				
	レストラン事務控室	ビニール系タイル	21				
	廊下 (1)	ビニール系シート	189				
	便所	磁器室タイル	5				
	監視室	ビニール系タイル	20				
2 階	放送監視室	タイルカーペット	44				
	救護室	ビニール系シート	13				
	選手召集室	ビニール系シート	39				
	記者室	ビニール系シート	57				
	審判控室	ビニール系シート	24				
	競技役員室	ビニール系シート	40				
	更衣室 (男女)	ビニール系シート	285				
	シャワー室 (男女)	磁器室モザイクタイル	45				

二 機械設備等の保守点検について

1 法定点検

次の法令を参考に、法定点検を施設の機械設備の配置状況（詳細は、「4 主要機器一覧表」のとおり。）に合わせて実施すること。

根拠法令	該当設備	頻度
電気事業法	受変電設備、自家用発電機、配電設備 避雷設備、負荷設備等	6 回 / 1 年
消防法	消防用設備の機器点検	1 回 / 6 月
	消防用設備の総合点検 無負荷運転方式による自家発電設備の負 荷運転を実施すること	1 回 / 1 年
建築基準法	昇降機	1 回 / 1 月
水道法	貯水槽設備の点検清掃、簡易水道検査 受水槽の有効貯水槽が 10 m ³ を超えるもの	1 回 / 1 年
ボイラー及び圧力 容器安全規則	ボイラー、圧力容器、空調設備	1 回 / 1 年
高圧ガス保安法	空調設備、冷凍機	1 回 / 1 年

2 定期点検、消耗部品の交換

法定点検のほか、機械設備等の機能維持のための定期点検を、機器の取扱説明書又は機器製造元の推奨点検期間等に合わせて実施すること。

また、機器に使用されている消耗部品（フィルター、Vベルト等）については、日常点検において動作状況を確認するとともに、汚れ、耐久時間等に応じた交換を実施すること。

3 補足事項

（１）各種設備の保守点検等にあたっては、作業実施時間及び利用者への影響を考慮した上で実施すること。

（２）業務範囲内の作業において発生した事故等については、本市への報告並び

に復旧作業を速やかに行うこと。

なお、この際の復旧作業に要する費用等については指定管理者の負担において実施すること。

(3) 特殊設備等に関する保守点検の基準は、「三 特殊設備等の保守点検について」のとおり。

4 淵野辺公園銀河アリーナ 主要機器一覧表

(1) 電気設備

項 目	仕 様	数 量
受変電設備	受電方式 【受電電圧】 3 3W 6600V 【周波数】 50Hz 受電盤 【盤形式】 JEM1153「閉鎖配電盤」による F 形 【配電盤分類】 垂直自立型単位閉鎖 前面 前扉 【遮断機種類】 真空遮断器【遮断電流】 12.5KA【面数】 2 面 饋電盤 【盤形式】 JEM1153「閉鎖配電盤」による E 形 【配電盤分類】 垂直自立型単位閉鎖 前面 前扉 【遮断機種類】 真空遮断器【遮断電流】 8KA【面数】 2 面 コンデンサ盤 【盤形式】 JEM1153「閉鎖配電盤」による E 形 【配電盤分類】 垂直自立型単位閉鎖 前面 前扉 【遮断機種類】 真空接触器【遮断電流】 40KA【面数】 3 面 変圧器盤 【盤形式】 JEM1153「閉鎖配電盤」による E 形【面数】 5 面 【相別】 1 3W (210/105V) 3 3W (210V) 【絶縁方式】 モールド型 F 種 【台数】 6 台 低圧盤 【盤形式】 JEM1265「低圧閉鎖配電盤」による A 形 【配電盤分類】 垂直自立形 前面 前扉 【遮断機種類】 配線用遮断機【面数】 7 面	1 式
非常用発電装置	発電機 【形式】 長時間 普通型パッケージ 【始動時間】 停電後 10 秒以内に給電すること 【換気量】 400 m ³ /min 【容量】 200KVA 【電圧】 6600V 【周波数】 50Hz 【電流】 17.5A 【相数】 3 【極数】 4P 【力率】 80%	1 式

	<p>ブランレス【絶縁階級】F 種 ディーゼルエンジン</p> <p>【形式】立型水冷 4 サイクル 【出力】240PS</p> <p>【冷却方式】ラジエター</p> <p>【燃料】A 重油 【燃料タンク】490ℓ</p> <p>【潤滑方式】強制潤滑【始動方式】セルモーター</p> <p>【バッテリー】HS24V-200E【充電器】全自動充電</p> <p>【容量】約 3000kg</p>	
直流電源装置	<p>蓄電池</p> <p>【形式】HS-200E 【個数】54 (個)</p> <p>【容量】250AH/10HR 【組電池電圧】108V</p> <p>【普通充電電流】20A 【浮動充電電圧】117.5V</p> <p>【均等充電電圧】124.0 【電解液比重】1240at20</p> <p>【保守用具】一式</p> <p>整流器 全自動サイリスター (定電圧装置付)</p> <p>[方式] DC100V30A</p> <p>【整流方式】単相全波【冷却方式】自然冷却【定格】連続</p> <p>[交流入力]</p> <p>【相数】1 【電圧】200V【電圧変動範囲】180 ~ 22v</p> <p>【周波数】50Hz【周波数変動範囲】47.5 ~ 52.5Hz</p> <p>[直流出力]</p> <p>【浮動充電電圧】117.5V【均等充電電圧】124.0</p> <p>【定電圧精度】±1.5% 【定格出力電流】30A</p> <p>【最大垂下電流】36A 以下</p>	1 式
中央監視装置	<p>中央制御装置</p> <p>【管理点数】最大 1000 点</p> <p>【系統分類】99 グループ 30 ポイント/1 グループ</p> <p>【CPU 構成】16 ビット、マルチ CPU</p> <p>【主記憶装置】IC メモリ</p> <p>【補助記憶装置】FD 及び磁気ディスク</p> <p>【伝達幹線 (ライン)】クライン (最大)</p> <p>【伝達方式】直列伝送、2 連送照合方式</p> <p>【伝送距離】最大 3km</p> <p>【リモートユニット接続数】最大 25 ユニット/ライン</p> <p>【配給電源】AC100V ± 10%, 50HZ, 最大 1.5KVA</p> <p>【接地条件】第 3 種単独接地 (システム共通)</p> <p>【電源断保護】停電後 750 時間のデータメモリ及びカレンダー動作</p>	1 式

	<p>【周囲条件】0～40℃, 80～85%RH</p> <p>CRT</p> <p>【形式】14 インチカラー【画面構成】80 列×50 行</p> <p>【表示文字】英数, カナ, 漢字, ひらがな, (JIS 第 1 水準), 記号, 図形 グループ名称及びポイント名称は JIS 第 2 水準</p> <p>【画面種類】リスト表示</p> <p>ポイント, 各種一覧, 各種プログラム, カレンダ画面等</p> <p>グラフ表示</p> <p>サマリグラフ画面 15 枚</p> <p>操作卓</p> <p>【KB (キーボード)】ファンクションキー, テンキー, インターホンキー</p> <p>【ライトペン】CRT 画面上でのメッセージプリンタ</p> <p>【印字文字種】英数, カナ, 記号, 漢字, ひらがな</p> <p>【印字速音】45 字/秒 (漢字印字モード)</p> <p>【印字数】136 文字/行 (ANK 角モード)</p> <p>【印字色】黒, 赤 【記録紙幅】15 インチ</p> <p>【電源】AC100V ± 10%, 50HZ, 200VA</p> <p>ロギングプリンタ</p> <p>【印字文字種】英数, カナ, 記号, 漢字, ひらがな</p> <p>【印字速音】45 字/秒 (漢字印字モード)</p> <p>【印字数】136 文字/行 (ANK 角モード)</p> <p>【印字色】黒, 赤 【記録紙幅】15 インチ</p> <p>【電源】AC100V ± 10%, 50HZ, 200VA</p>	
照明操作装置	<p>照明操作装置</p> <p>【伝送方式】サイクリック時分割多重伝送 (± 5V)</p> <p>【最大端末数】50 端末器 200 回路</p> <p>【制御機能】パターン操作および一斉 OFF 副操作盤によるパターン制御</p> <p>【モニタ機能】運転状況を各々 LED 表示</p> <p>【プログラム設定】プログラムインプットキーによる 各種プログラム機能</p> <p>【停電補償】プログラムメモリー 200 時間以上バックアップ</p> <p>【接続信号線】CPEV S 1.2 または、CVVS2m m² 2 芯シールド付</p> <p>【使用環境】0 ～ 40℃ 90RH% 以下 (結露なきこと) 屋内用</p> <p>【電源】100V ± 10% 50/60HZ 40VA 以下</p> <p>【仕上色】指定色</p> <p>【重量】約 100kg</p>	1 式

	<p>主操作盤</p> <p>【伝送方式】サイクリック時分割多重伝送（±5V）</p> <p>【最大端末数】50 端末器 200 回路</p> <p>【制御機能】パターン操作及び一斉 OFF</p> <p>副操作盤によるパターン制御</p> <p>【モニタ機能】運転状況を各々LED 表示</p> <p>【接続信号線】CPEV S 1.2 又は、CVVS2m m² 2 芯シールド付</p> <p>【使用環境】0 ~ 40 90RH%以下（結露なきこと）屋内用</p> <p>【電源】100V ±10% 50/60HZ 20VA 以下</p> <p>【仕上色】指定色</p> <p>【重量】約 15kg</p> <p>副操作盤</p>	
I T V設備	<p>モニター装置 モニターテレビ（12 インチ）3 台</p> <p>カメラ 7 台</p>	1 式
館内放送設備	<p>【電源電圧】AC100V 50/60Hz 【定格出力】320W（160W×2）</p> <p>【ミキサーユニット】マイク 3、レコード 1、ライン 15、各入力回路</p> <p>【非常放送操作部】非常 10 回線＋一斉、通常 10 回線</p> <p>【モニター部】1W 以上、ATT 付、スピーカ内蔵、VU 計付</p> <p>【非常電源部】ニッケルカドニウム蓄電池、DC24V、自動充電回路、電源電圧監視計内臓</p> <p>【コールサイン】4 音式電子チャイム 1</p> <p>【ミキサーユニット】4 回路ミキサー、ライン 1（600 平衡）チャイム 1、入力回路、温室調整、高音、低音</p>	1 式
場内放送設備	<p>音声調整卓</p> <p>【入力回路】</p> <p>[マイク/ライン切換]-60,-50,-40,-30,20 dBs 12 回路</p> <p>[AUX]-20 dBs,25K 不均衡 2 回路</p> <p>[サブ]+4 dBs,25K 不均衡 4 回路</p> <p>[エアモニター]-60 dBs, 25K 均衡 1 回路</p> <p>【出力回路】</p> <p>[マトリックス出力]+4 dBs,600K 6 回路</p> <p>[プログラム]+4 dBs,600K 2 回路</p> <p>[AUX]+4 dBs,10K 2 回路</p> <p>[モニター]+4 dBs 2 回路</p> <p>[エコー]-2 dBs,10K 1 回路</p> <p>[周波数特性]20 ~ 20,000HZ +0 dB/-2 dB</p> <p>[全高周波歪率]0.1%</p> <p>[S/N比]入力換算 -128dB</p>	

	<p>[チャンネルイコライザー]LOW: $\pm 12\text{dB}$(100HZ)HIGH: $\pm 12\text{dB}$(10HZ)</p> <p>[マスターイコライザー]10 素子型 SEA システム $\pm 12\text{dB}$ 2 系統</p> <p>[付属機能]トークバック,エアモニター,アンプ (15w*2),アナウンスマイク,インカム装置付</p> <p>カセットテープデッキ</p> <p>【入力】80mv 50k 不平衡</p> <p>【出力】30mv 5k 不平衡</p> <p>【周波数特性】20 ~ 19000HZ (メタルテープ)</p> <p>【S / N 比】58dB (メタルテープ)</p> <p>【ワウ・フラッター】$\pm 0.11\%$ (W・Peak)</p> <p>【その他】3 モーター,コンビネーションヘッド,クイックリバース レコード及びC D プレーヤ卓</p> <p>[レコードプレーヤ]</p> <p>【トーンアーム】スタティックバランス式電子制御型</p> <p>【カートリッジ】ムービングコイルタイプ</p> <p>【フォノモーター】クォーツロックダイレクトドライブ</p> <p>[C D プレーヤ]</p> <p>【周波数特性】2 ~ 20,000Hz $\pm 0.5\text{dB}$</p> <p>【S / N 比】110dB</p> <p>【回転ムラ】測定限界以下</p> <p>呼出用アンプ</p> <p>【定格入力】15w</p> <p>【周波数特性】150 ~ 10,000Hz</p> <p>【入力回路】マイク*2,外部*2</p> <p>【S / N 比】50dB 以上</p> <p>【出力インピーダンス】100V ライン用 4 ~ 16 用</p> <p>メインスピーカ</p> <p>【総合入力】150W (100W+50W)</p> <p>【周波数特性】39 ~ 20,000Hz (クロスオーバー500HZ)</p> <p>[スピーカユニット]</p> <p>【低音用】38cm スピーカ*2</p> <p>インピーダンス: 8</p> <p>エンクロージャー: 686H*457w*414D</p> <p>音圧レベル: 100dB /W (1m)</p> <p>【高音用】ホーン型スピーカ*2</p> <p>インピーダンス: 8</p> <p>水平指向角度: 90 ° (+20° , -20°)</p>	
--	--	--

	<p>垂直指向角度：40°（+20°，-20°）</p> <p>音圧レベル：111dB/W（1m）</p> <p>ドライバー振動板：チタニウムドーム，チタニウムサスペンション</p> <p>【その他】耐腐蝕性，耐水性，耐久性に優れていること 85kg</p> <p>客席天井スピーカ</p> <p>【スピーカユニット】2ウエ1方式</p> <p>【許容入力】100W</p> <p>【インピーダンス】：8</p> <p>【音圧レベル】96dB/W（1m）</p> <p>【周波数特性】80～18,000Hz</p> <p>【その他】耐腐蝕性，耐水性，耐久性に優れていること</p> <p>天井埋込スピーカ</p> <p>【スピーカユニット】16cm コーン型*1</p> <p>【許容入力】3W</p> <p>【インピーダンス】100V ラインに適合</p> <p>【音圧レベル】92dB/W（1m）</p> <p>【周波数特性】100～10,000Hz</p> <p>【仕上】アルマイト パンチングメタル</p> <p>防水型コンセント盤等</p> <p>【マイクコネクタ】XLR-3-31*1</p> <p>【スピーカーコネクタ】XLR-4-32*2</p> <p>【インカムコネクタ】XLR-7-31*1</p> <p>【ボックス】ステンレス製防水仕上げ</p>																									
構内電話交換設備	<p>デジタル電子交換機</p> <p>【方式】蓄積プログラム制御 時分割 PCM 1段接続</p> <p>【収容回線】</p> <table border="1"> <tr> <td></td><td>実 装</td><td>容 量</td></tr> <tr> <td>局 線</td><td>1 6</td><td>3 2</td></tr> <tr> <td>内 線</td><td>4 8</td><td>6 4</td></tr> </table> <p>【番号計画】</p> <table border="1"> <tr> <td>種別</td><td>番号</td><td>備考</td></tr> <tr> <td>局線発信</td><td>“ 0 ”</td><td></td></tr> <tr> <td>局線応答</td><td>“ ボタン ”</td><td></td></tr> <tr> <td>局線転送</td><td>“ ボタン ”</td><td></td></tr> <tr> <td>内線相互</td><td>“ × × × ”</td><td>3 文字</td></tr> </table> <p>【機能】</p>		実 装	容 量	局 線	1 6	3 2	内 線	4 8	6 4	種別	番号	備考	局線発信	“ 0 ”		局線応答	“ ボタン ”		局線転送	“ ボタン ”		内線相互	“ × × × ”	3 文字	1 式
	実 装	容 量																								
局 線	1 6	3 2																								
内 線	4 8	6 4																								
種別	番号	備考																								
局線発信	“ 0 ”																									
局線応答	“ ボタン ”																									
局線転送	“ ボタン ”																									
内線相互	“ × × × ”	3 文字																								

	保留音送出 / ピックアップ 呼出信号区別 / テナント 自動ハウラ / 固定短縮ダイヤル リセットシフトコール / 可変短縮ダイヤル ラインロックアウト / 可変不在転送 ナンバーリングフリー / 内線相互キャンブオン 市外制御 / コールバックトランスファ 電源装置 【整流器】 100V ± 10V (本体内蔵形) 【蓄電池】 24V - 30AH (収容箱が本体下部設置形) 電話機 多機能電話機 (表示付) 9 台 卓上型電話機 3 3 台 同上壁掛け用品 1 5 台 留守電機能つき (3 局用) 1 台	
自動火災報知設備	複合盤 自立型 【受信機】蓄熱式 P 型 1 級 39/85 回線 【防災連動制御盤】 10 回線 【附属表示】 15 回線 [スプリンクラー]放出 3L [ハロン]準備 4L 起動 1L 【ガス漏れ受信機】 10 回線 【表示機】	1 式
避雷針設備	突針建設省 LR-1 型 BST 40 *3t	1 式

(2) 空調設備

項 目	仕 様	数 量
熱交換器 (1F 機械室)	【型式】プレート形〔ブライン (エチレングリコール 37% W T) - 冷水〕 【交換熱量】 264,000Kcal / H 【1 次側 (ブライン)】 855ℓ/min(3 ~ 8.4) 【2 時側 (冷水)】 880ℓ/min(10 ~ 5) 【最高使用圧】 5.0kg/cm ² 【材質】 SUS 製	1 台
冷温水往ヘッダー (1F 機械室)	【鋼管製】 溶解亜鉛めっき 溶解栓付 【概略寸法】 200 *2,900L 【架台】 800H 【最高使用圧力】 4.3kg/cm ² 【タッピング】 80A*5, 100A*3, 20A	1 式
冷温水往ヘッダー (1F 機械室)	【鋼管製】 溶解亜鉛めっき 溶解栓付 【概略寸法】 200 *2,900L 【架台】 800H 【最高使用圧力】 5.0kg/cm ² 【タッピング】 50A, 80A*6, 100A, 20A	1 式

冷温水還ヘッダー (1F 機械室)	【鋼管製】溶解亜鉛めっき 溶解栓付 【概略寸法】200 *1,900L 【架台】800H 【最高使用圧力】2.5kg/cm ² 【タッピング】80A, 100A*3, 125A, 20A	1 式
冷温水還ヘッダー (1F 機械室)	【鋼管製】溶解亜鉛めっき 溶解栓付 【概略寸法】200 *1,900L 【架台】800H 【最高使用圧力】2.5kg/cm ² 【タッピング】50A, 80A, 100A*2, 125A, 20A	1 式
温水往ヘッダー (1F 機械室)	【鋼管製】溶解亜鉛めっき 溶解栓付 【概略寸法】200 *1,900L 【架台】800H 【最高使用圧力】2.5kg/cm ² 【タッピング】32A, 65A*3, 80A, 100A, 125A*2, 200A, 20A	1 式
温水往ヘッダー (1F 機械室)	【鋼管製】溶解亜鉛めっき 溶解栓付 【概略寸法】200 *2,550L 【架台】800H 【最高使用圧力】3.8kg/cm ² 【タッピング】80A*4, 100A, 125A*2, 20A	1 式
温水往ヘッダー (1F 機械室)	【鋼管製】溶解亜鉛めっき 溶解栓付 【概略寸法】200 *2,850L 【架台】800H 【最高使用圧力】5.2kg/cm ² 【タッピング】65A, 80A*7, 100A, 20A	1 式
温水還ヘッダー (1F 機械室)	【鋼管製】溶解亜鉛めっき 溶解栓付 【概略寸法】200 *1,600L 【架台】800H 【最高使用圧力】2.5kg/cm ² 【タッピング】100A, 125A*3, 20A	1 式
温水還ヘッダー (1F 機械室)	【鋼管製】溶解亜鉛めっき 溶解栓付 【概略寸法】200 *1,900L 【架台】800H 【最高使用圧力】2.5kg/cm ² 【タッピング】65A, 80A, 100A*2, 125A, 20A	1 式
温水還ヘッダー (1F 機械室)	【鋼管製】溶解亜鉛めっき 溶解栓付 【概略寸法】300 *3,250L 【架台】800H 【最高使用圧力】2.5kg/cm ² 【タッピング】32A, 65A*3, 80A, 100A, 125A*2, 200A, 20A	1 式

ポンプ (1F 機械室)	冷水ポンプ 【型式】片吸込渦巻ポンプ 80 *65 *880L/min*18mH ₂ O スプリング防振架台共 GV CV FJ PG 共 【動力】3 *200v*3.7KW 【起動方式】L-S	1 台
	冷温水ポンプ 【型式】多段渦巻ポンプ 65 *300L/min*25mH ₂ O スプリング防振架台共 GV CV FJ PG 共 【動力】3 *200v*3.7KW 【起動方式】L-S	3 台
	温水 1 次ポンプ 【型式】片吸込渦巻ポンプ 65 *50 *370L/min*13mH ₂ O スプリング防振架台共 GV CV FJ PG 共 【動力】3 *200v*2.2KW 【起動方式】L-S	1 台
	温水 1 次ポンプ 片吸込渦巻ポンプ 80 *65 *870L/min*13mH ₂ O スプリング防振架台共 GV CV FJ PG 共 【動力】3 *200v*3.7KW 【起動方式】L-S	1 台
	温水 2 次ポンプ 【型式】多段渦巻ポンプ 65 *290L/min*27mH ₂ O スプリング防振架台共 GV CV FJ PG 共 【動力】3 *200v*3.7KW 【起動方式】L-S	3 台
	温水ポンプ (採暖室用) 【型式】ラインポンプ (SUS 製) 40 *120L/min*17mH ₂ O PG 共 【動力】3 *200v*1.5KW 【起動方式】L-S	1 台
膨脹タンク (1F 機械室)	【型式】密閉式ダイヤフラム方式 銅版製 内部樹脂コーティング 【タンク容量】55L 【膨脹水量】20L 【最高使用水圧】5.5kg/cm ²	1 台
ユニット型空 調機 (1F 機械室)	(玄関ホール系統) 【型式】横型 【冷房能力】55,800Kcal /H 【暖房能力】55,000Kcal /H 【送風量】6,500 m ³ /H 【加湿量】22.5L/min(有効) 【加温水コイル】186L/min 冷水 5 ~10 温水 60 ~50 【空気条件】コイル入口 (夏) 30.8 DB, 23.6 WB " (冬) 10.2 DB, 5.6 WB コイル出口 (夏) 15.5 DB, 14.5 WB " (冬) 39.2 DB, 17.5 WB 【送風機】機外静圧 35 mm H ₂ O [動力]3 *200v*2.2KW [起動方式]L-S 【加湿器】高水圧スプレー [動力]1 *200v*0.1KW [起動方式]L-S 【フィルター】パネル型 (補集効率 非色法 60%以上) スプリング防振架台, 混気 BOX 共	1 式

	【フィルター】パネル型（補集効率 比色法 60%以上） 混気 BOX 共	
外気調和機 （1F 機械室）	<p>トレーニングルーム</p> <p>【型式】天吊横型</p> <p>【冷房能力】38,000Kcal/H【暖房能力】34,600Kcal/H</p> <p>【送風量】 3,600 m³/H 【加湿量】22L/min（有効）</p> <p>【加温水コイル】127L/min 冷水：5 ～ 10 温水：60 ～ 50</p> <p>【空気条件】</p> <p>コイル入口（夏） 33.6 DB,26.5 WB</p> <p>” （冬） 1.5 DB,-2.8 WB</p> <p>コイル出口（夏） 17.3 DB,16.3 WB</p> <p>” （冬） 34.8 DB,13.8 WB</p> <p>【送風機】機外静圧 35 mm H₂O 【動力】3 *200v*1.5KW 【起動方式】L-S</p> <p>【加湿器】高圧水スプレー 【動力】1 *200v*0.1KW 【起動方式】L-S</p> <p>【フィルター】パネル型（補集効率 比色法 60%以上）</p> <p>スプリング防振架台,混気 BOX 共</p>	1 式
（2F）	<p>メインアリーナ</p> <p>【型式】天吊横型</p> <p>【暖房能力】14000Kcal/H【送風量】1300 m³/H</p> <p>【温水コイル】24 L/min 温水 60 ～ 50</p> <p>【空気条件】コイル入口（中間期）14.5 DB,9.5 WB</p> <p>コイル出口（中間期）49.2 DB,22.0 WB</p> <p>【送風機】機外静圧 30 mm H₂O 【動力】3 *200v*0.75KW 【起動方式】L-S</p>	16 式
（2F）	<p>2 階男女更衣室</p> <p>【型式】横型</p> <p>【暖房能力】 21,100Kcal/H 【送風量】 2,200 m³/H</p> <p>【加湿量】13.5L/H</p> <p>【温水コイル】36 L/min 温水 60 ～ 50</p> <p>【空気条件】コイル入口（中間期） 1.5 DB,-2.8 WB</p> <p>コイル出口（中間期）34.8 DB,13.8 WB</p> <p>【送風機】機外静圧 40 mm H₂O【動力】3 *200v*1.5KW 【起動方式】L-S</p> <p>【加湿器】高圧水スプレー【動力】1 *200v*0.1KW 【起動方式】L-S</p> <p>【フィルター】パネル型（補集効率 比色法 60%以上）</p> <p>スプリング防振架台,混気 BOX 共</p>	1 式
（2F）	<p>選手控室系統</p> <p>【型式】天吊横型</p> <p>【冷房能力】10,600Kcal/H 【暖房能力】 9,600Kcal/H</p> <p>【送風量】 1,000 m³/H 加湿量 6.1L/min（有効） 200V*0.85KW</p>	1 式

	<p>【冷温水コイル】36 L/min 冷水：5 ～10 温水：60 ～50</p> <p>【空気条件】</p> <p>コイル入口（夏） 33.6 DB,26.5 WB</p> <p>” （冬） 1.5 DB,-2.8 WB</p> <p>コイル出口（夏） 17.3 DB,16.3 WB</p> <p>” （冬） 34.8 DB,13.8 WB</p> <p>【送風機】機外静圧 40 mm H₂O [動力]3 *200v*0.75KW [起動方式]L-S</p> <p>【加湿器】高圧水スプレー [動力]3 *200v*0.1KW [起動方式]L-S</p> <p>【フィルター】パネル型（補集効率 比色法 60%以上）</p> <p>スプリング防振架台,混気 BOX 共</p>	
加湿コイルユニット（4F）	メインアリーナ	2 式
	<p>【暖房能力】77,300Kcal/H 【処理風量】 8,700 m²/H</p> <p>【温水コイル】 129L/min 温水 60 ～50</p> <p>【空気条件】コイル入口：14.5 DB,9.5 WB</p> <p>コイル出口：44.0 DB,20.1 WB</p>	
	サブアリーナ	1 式
	<p>【暖房能力】 79,200Kcal/H 【処理風量】8,900 m²/H</p> <p>【温水コイル】 132L/min 温水：60 ～50</p> <p>【空気条件】コイル入口 14.5 DB,9.5 WB</p> <p>コイル出口 44.0 DB,20.1 WB</p>	
	観客席	2 式
	<p>【暖房能力】 120,000Kcal/H 【処理風量】 12,500 m²/H</p> <p>【温水コイル】 200L/min 温水 60 ～50</p> <p>【空気条件】コイル入口 1.5 DB,-2.8 WB</p> <p>コイル出口 35.0 DB,13.6 WB</p> <p>【加湿量】77L/H（有効）[動力]1 *200v*0.1KW [起動方式]L-S</p> <p>【加湿器】高圧水スプレー</p>	

ファンコイル ユニット	<p>【型式】天井埋込ダクト型 [動力]1 *100v*10W [起動方式]L-S 【冷房能力】1,390Kcal/H (顕熱)990kcal/h 【暖房能力】1,680Kcal/H 【冷温水量】5L/min 【冷温水弁】 FJ 共</p>	4 台
	<p>【型式】天井埋込ダクト型 [動力]1 *100v*15W [起動方式]L-S 【冷房能力】2,010Kcal/H (顕熱)1,370kcal/h 【暖房能力】2,090Kcal/H 【冷温水量】8L/min 【冷温水弁】 FJ 共</p>	2 台
	<p>【型式】天井埋込ダクト型 [動力]1 *100v*20W [起動方式]L-S 【冷房能力】3,270Kcal/H 【暖房能力】 3,940Kcal/H 【冷温水量】10L/min 【冷温水弁】 FJ 共</p>	15 台
	<p>【型式】天井埋込ダクト型 [動力]1 *100v*30W [起動方式]L-S 【冷房能力】4,140Kcal/H (顕熱)2,960kcal/h 【暖房能力】 4,930Kcal/H 【冷温水量】 16L/min 【冷温水弁】 FJ 共</p>	5 台
	<p>【型式】天井埋込ダクト型 [動力]1 *100v*30+15W [起動方式]L-S 【冷房能力】6310Kcal/H (顕熱)4,650kcal/h 【暖房能力】7,710Kcal/H 【冷温水量】20L/min 【冷温水弁】 FJ 共</p>	8 台
ファンコンベ クター	<p>【型式】天井埋込ダクト型 [動力]1 *100v*67W [起動方式]L-S 【暖房能力】1,290Kcal/H 【温水量】6L/min 【冷温水弁】 FJ 共</p>	6 台
	<p>【型式】天井埋込ダクト型 (耐塩仕様) [動力]1 *100v*71W [起動方式]L-S 【暖房能力】2,720Kcal/H 【温水量】 10L/min 【冷温水弁】 FJ 共</p>	2 台
	<p>【型式】天井埋込ダクト型 (耐塩仕様) [動力]1 *100v*115W [起動方式]L-S 【暖房能力】4,330Kcal/H 【温水量】12L/min 【冷温水弁】 FJ 共</p>	14 台
	<p>【型式】天井埋込ダクト型 (耐塩仕様) [動力]1 *100v*123W [起動方式]L-S 【暖房能力】5,870Kcal/H 【温水量】20L/min 【冷温水弁】 FJ 共</p>	2 台

パネルヒーター	【型式】コンパクトタイプ（耐塩仕様） 【暖房能力】 (1,806) 1,445kcal/h 【寸法】 (2,500) 2,000L*210H*1,620 【温水量】 (3.0) 2.4ℓ/min 取付金具（SUS製）共	6台
	【型式】コンパクトタイプ（耐塩仕様） 【暖房能力】 (2,529) 2,168kcal/h 【寸法】 (3,500) 3,000L*210H*1,620 【温水量】 (4.2) 3.6ℓ/min 取付金具（SUS製）共	4台
	【型式】コンパクトタイプ（耐塩仕様） 【暖房能力】 (3,251) 2,890kcal/h 【寸法】 (2,500) 2,000L*210H*1,620 【温水量】 (5.4) 4.8ℓ/min 取付金具（SUS製）共	5台
	【型式】コンパクトタイプ（耐塩仕様） 【暖房能力】 1,445kcal/h 【寸法】 4,000L*210H*51D 【温水量】 2.4ℓ/min 取付金具（SUS製）共	15台
	【型式】コンパクトタイプ（耐塩仕様） 【暖房能力】 1,579kcal/h 【寸法】 5,200L*210H*51D 【温水量】 3.1ℓ/min 取付金具（SUS製）共	82台
	【型式】コンパクトタイプ（耐塩仕様） 【暖房能力】 862kcal/h 【寸法】 5,200L*70H*65D 【温水量】 1.4ℓ/min 取付金具（SUS製）共	10台
	【型式】コンパクトタイプ（耐塩仕様） 【暖房能力】 361kcal/h 【寸法】 1,000L*210H*61D 【温水量】 0.4ℓ/min	6台
空冷式パッケージ型空調機	レストラン系統 【型式】空冷式ヒートポンプ型 【冷房能力】 63,000kcal/h（JIS標準） 【暖房能力】 67,000kcal/h（JIS標準） 【加湿機】 15.3ℓ/h（有効） 【圧縮機】 [動力]3 *200v*10.8*2 [起動方式]L-S 【送風機（屋内機）】 16,200 m ² /h 70mmH ₂ O [動力]3 *200v*5.5 [起動方式]L-S 【送風機（屋外機）】 [動力]3 *200v*0.7*2 [起動方式]L-S 【加湿器】 高圧スプレー [動力]1 *200v*0.1 [起動方式]L-S スプリング防振架台（屋内機）共	1台

ルームエアコン	【型式】 空冷式ヒートポンプ型 【冷房能力】 1,600kcal/h (JIS 標準) 【暖房能力】 2,200kcal/h (JIS 標準) 【圧縮機】 [動力]1 *100v*600W 【起動方式】 L-S 【送風機 (屋内機)】 [動力]1 *100v*16W 【起動方式】 L-S 【送風機 (屋外機)】 [動力]1 *100v*21W 【起動方式】 L-S 屋外機用ブラケット架台共	1 台
---------	--	-----

(3) 給排水衛生設備

項 目	仕 様	数量
真空式温水器 (1F ボイラー室)	【型式】 銅板製 【定格出力】 400,000Kcal/H 【温水】 20.0 m ³ (55 ~ 75) 【燃料消費量】 45.9Nm ³ /H 【熱交換器】 銅管 【伝熱面積】 9.9 m ² 【最高使用圧力】 50mH ₂ O 【動力】 3 -200V-1.5KW 【起動方式】 L-S	3
受水槽 (1F 機械室)	【型式】 鉄パネル型 【耐震】 2/3G 【寸法】 16000*6500*4500H (飲料用) (4,000+4,000) *6,500*4,500H (プール用) 4,000*6,500*4,500H 銅製平架台 (溶融亜鉛メッキ) 共	1
温水ヘッダー (1F 機械室)	【型式】 鋼管製 【概略寸法】 2,500L*250 【架台】 800H 【最高使用圧力】 2.5kg/cm ²	1
貯湯槽 (1F 機械室)	【型式】 立形 銅板製内面耐熱 FRP ライニング 【容量】 6,000L 【概略寸法】 1,800*2,150H (胴長) 【脚高】 300H 【最高使用圧力】 2.5kg/cm ²	2
給水加熱水槽	【型式】 立形 銅板製内面エポキシコーティング 【容量】 4,500L (有効) 【概略寸法】 1,600 *2,500H 【脚高】 300H 【熱交換器】 423,000Kcal/H 1,640L/min(36.3 ~ 37.0) 【最高使用圧力】 2.0kg/cm ²	1 基
熱交換器 (1F 機械室)	給湯系統	2
	【型式】 プレート形 (温水 - 温水) 【交換熱量】 130,000Kcal/H 【1次側】 220L/min(70.0 ~ 60.0) 【2次側】 50L/min(15.0 ~ 60.0) 【最大使用圧力】 5kg/cm ² メインプール系統	1
	【型式】 プレート形 (温水 - プール水) 【交換熱量】 445,000Kcal/H 【1次側】 750L/min(60.0 ~ 50.0) 【2次側】 750L/min(28.0 ~ 38.0) 【最大使用圧力】 5kg/cm ² サブプール系統	1
	【交換熱量】 102,000Kcal/H 【1次側】 170L/min(60.0 ~ 50.0) 【2次側】 170L/min(28.0 ~ 38.0)	

	【最大使用圧力】5kg/cm ²	
給水加圧装置 (1F 機械室)	飲料水系統	1
	【型式】速度制御(周波数変換)方式 80 *1200L/min*38mH ₂ O*7.5KW*2 【動力】3 *200V*15.0KW 【起動方式】L-S	
	プール系統	1
	【型式】ダイヤフラムタンク方式 50 *530L/min*25mH ₂ O*3.7KW*2 【動力】3 *200V*7.4KW 【起動方式】L-S	
	並列交互運転、制御盤、圧力タンク共 スプリング防振架台	
	公園飲料水系統	1
温水ポンプ (1F 機械室)	【型式】速度制御(周波数変換)方式 65 *360L/min*35mH ₂ O*3.75KW*2 【動力】3 *200V*11.0KW 【起動方式】L-S	
	並列交互運転、制御盤、圧力タンク共 スプリング防振架台	
	再生水系統	
	【型式】速度制御(周波数変換)方式 50 *400L/min*38mH ₂ O*3.70KW*2 【動力】3 *200V*7.4KW 【起動方式】L-S	
	吸込運転型、コーティング仕様、並列交互運転、制御盤、圧力タンク共 スプリング防振架台	
温水ポンプ (1F 機械室)	温水機系統	3
	【型式】片吸込渦巻ポンプ 80 *65 *750L/min*6mH ₂ O 【動力】3 *200V*1.5KW 【起動方式】L-S スプリング防振架台	
	給湯器加熱系統	2
	【型式】片吸込渦巻ポンプ 50 *40 *220L/min*15mH ₂ O 【動力】3 *200V*1.5KW 【起動方式】L-S スプリング防振架台	
	メインプール加熱系統	1
	【型式】片吸込渦巻ポンプ 80 *65 *750L/min*17mH ₂ O 【動力】3 *200V*3.7KW 【起動方式】L-S スプリング防振架台	
給湯ポンプ (1F 機械室)	温水機系統	1
	【型式】片吸込渦巻ポンプ 50 *40 *170L/min*17mH ₂ O 【動力】3 *200V*1.5KW 【起動方式】L-S スプリング防振架台	
	【型式】ライン型 32 *50L/min*11mH ₂ O 【動力】3 *200V*0.40KW 【起動方式】L-S	2
	【型式】ライン型 25 *30L/min*6mH ₂ O 【動力】3 *200V*0.15KW 【起動方式】L-S	2
排水ポンプ (受水槽ピット) (1F 雑排水槽)	【型式】水中型 80 *450L/min*14mH ₂ O 【動力】3 *200V*3.70KW 【起動方式】L-S	2
	【型式】水中型ステンレス製 80 *350L/min*8mH ₂ O 【動力】3 *200V*1.50KW 【起動方式】L-S	2

薬液タンク (1F 薬品庫)	ポリエチレン製 【容量】1,500L 【架台】1,500H	1
膨張タンク (1F 機械室)	【型式】密閉式ダイヤフラム方式 【タンク容量】275L 【膨張水量】95L 【最高使用圧力】4.5kg/cm ²	2
電気湯沸器 (2,3F 湯沸室)	10L 壁掛、ボイリング型、ウィークリータイマー付 【動力】1 *200V*2.0KW	2
(1F 湯沸室・2 室)	20L 壁掛、ボイリング型、ウィークリータイマー付 【動力】1 *200V*4.0KW	2
グリストラップ (屋外)	【容量】1,000L FRP 製パイプ導入式 【マンホール寸法】 2,340L*1,440m (5 枚割) 銅製 (溶融亜鉛メッキ) 受枠共	1
(2F 軽食厨房)	【容量】100L SUS 製耐火被覆型、側溝式 【マンホール寸法】 910L*510m (3 枚割) 銅製 (溶融亜鉛メッキ) 受枠共 SUS 製	1
衛生器具設備	和風大便器 40 耐火カバー 17 洋風大便器 15 身障者便器 3 小便 25 壁掛ストール小便器 14 洗面器 67 手洗器 4 掃除用流し 4 シャワー 30 シャワーヘッド 27 横形洗顔水栓 18 自在水栓 11 ミキシングバルブ 5 止水栓 5 散水栓 12 カップリング付水栓 5	-

(4) 製氷設備

項 目	仕 様	数量
ガスエンジン 駆動スクリー ー冷凍機 (1F ガスエ ンジン室)	【冷却能力】72UST (製氷専用時) 47UST (製氷+加熱時) 80UST (冷房専用、冷房+加熱時) 【ブライン (エチレングリコール 37%WT)】 810L/min -6.0 ~ -11.0 (製氷専用時) -7.7 ~ -11.0 (製氷+加熱時) 8.6 ~ 3.0 (冷房専用、冷房+加熱時) 【加熱能力】 128,000Kcal/H (製氷専用時) 111,500Kcal/H (製氷+加熱時) 109500 Kcal/H (冷房専用、冷房+加熱時) 【温水】 427L/min 80.0 ~ 85.0 (製氷専用時) 80.0 ~ 84.35 (製氷+加熱時) 80.0 ~ 84.7 (冷房専用、冷房+加熱時) 【冷却水】 1,125L/min	2

	軸封メカニカルシール スプリング防振架台 G V、C V、F J、P G 共 リンク用 【型式】片吸込渦巻ポンプ 125 *100 *2250L/min*34mH ₂ O 【動力】3 *200V*26.0KW 【起動方式】人-	1
	軸封メカニカルシール スプリング防振架台 G V、C V、F J、P G 共 冷房用 【型式】片吸込渦巻ポンプ 80 *65 *855L/min*25mH ₂ O 【動力】3 *200V*7.5KW 【起動方式】L-S G V、C V、F J、P G 共	1
冷却水ポンプ (1F 機械室)	凝縮器用 【型式】片吸込渦巻ポンプ 100 *80 *1125L/min*44mH ₂ O 【動力】3 *200V*26.0KW 【起動方式】人- エンジン用 【型式】片吸込渦巻ポンプ 80 *65 *427L/min*37mH ₂ O 【動力】3 *200V*11.0KW 【起動方式】人-	2 2
散水用加圧給 水装置 (1F 機械室)	【型式】ダイヤフラムタンク方式 40 *150L/min*55mH ₂ O 【動力】3 *200V*3.7KW 【起動方式】L-S 単独運転、吸込運転仕様、制御盤、圧力タンク共	1
膨張タンク (1F 機械室)	【型式】密閉式ダイヤフラム方式 銅板製 内部樹脂コーティング 【タンク容量】1,550L 【膨張水量】570L 【最高使用圧力】5.5kg/cm ² 【タンク容量】180L 【膨張水量】110L 【最高使用圧力】5.5kg/cm ² 【タンク容量】110L 【膨張水量】70L 【最高使用圧力】5.5kg/cm ²	1 1 1

(4) 建築設備

項 目	仕 様	数 量
昇降機設備	規格型乗用(車椅子兼用) 【制御】油圧間接式 【運転方式】(方向性)乗合全自動方式 【積載荷重(定員)】750kg(11名) 【速度】45m/min 【停止箇所(停止階)】3箇所(1,2,3階) 【かご内法寸法】間口1400mm*奥行1350mm 【出入口寸法】巾900mm*高さ2100mm 【戸開閉方式】電動式 2枚戸2枚中央開き 【連絡装置】インターホン	各1台

	<p>【電源】AC3 200V50HZ,AC1 100V50HZ</p> <p>【電動機容量】15kw</p> <p>【昇降工程】8400mm 荷物用</p> <p>【制御】油圧間接式</p> <p>【運転方式】単式自動方式</p> <p>【積載荷重（定員）】1000kg</p> <p>【速度】30m/min</p> <p>【停止箇所（停止階）】2 箇所（1,2 階）</p> <p>【かご内法寸法】間口 1700mm*奥行 2300mm</p> <p>【出入口寸法】巾 1400mm*高さ 2100mm</p> <p>【戸開閉方式】電動式 2 枚戸 2 枚片開き</p> <p>【連絡装置】インターホン</p> <p>【電源】AC3 200V50HZ,AC1 100V50HZ</p> <p>【電動機容量】18.5kw</p> <p>【昇降工程】5300mm</p>	
自動扉	【感知方式】レーダー式	3 か所
電動式重量 シャッター		8 か所
電光表示設備	電光表示盤、水泳競技処理システム、スケート競技処理システム、競技機器	1 式
可動ルーバー 設備	4 階天井	1 式
旗掲揚装置	<p>【旗バーサイズ】 34 × 6000</p> <p>【昇降ストローク】Ma20.000</p> <p>【昇降速度】50HZ（関東） 0～175mm/sec</p> <p>【吊上能力】約 20 kg</p> <p>【電源】AC100V</p> <p>【モーター仕様】容量 60W ウォームギヤモータ</p> <p>【操作方法】キースイッチ・スピードコントロール付</p> <p>制御盤任意位置取付可</p> <p>【その他】上端・下端 自動停止（自動停止位置調整可）</p>	1 式

三 特殊設備等の保守点検について

項 目	年間保守 実施回数	業 務 内 容
電光表示システム保守点検	2回以上	次の機器の保守点検を行う。 大型電光表示盤、競技処理コンピュータシステム、タッチ板システム等の保守点検及び関連機器の連動点検。
電動式重量シャッター	1回以上	(1)スイッチ類の機能・作動状態、作動状態、施錠の確認、記録 (2)電動機の異音、異臭の点検 (3)外観点検(破損、腐食、作動時の異音等) (4)自動・手動切替装置、解錠脱出装置の点検、調整 (5)扉圧縮状態、扉閉止位置点検、調整
酸素ボンベ補充	必要の都度	酸素ボンベの補充及び外観点検。

四 自動体外式除細動器（A E D）の配備について

- 1 A E Dは、定期的に作動チェック等のメンテナンスを行い、電池・パッド等の消耗品について必要に応じて交換すること。
- 2 職員に対してA E Dの使用方法や、救急救命の研修を含めた訓練を行うこと。

相模原球場 指定管理者が行う業務及び管理の実施基準

機械設備等保守点検

1 機械設備等保守点検

(1) 法定点検

次の法令を参考に、法定点検を施設の機械設備の配置状況（「4 相模原球場における設備・機器等概要」を参照。）に合わせて実施すること。

根拠法令	該当設備	頻度
電気事業法	受変電設備、自家用発電機、配電設備 避雷設備、負荷設備等	6回 / 1年
消防法	消防用設備の機器点検	1回 / 6月
	消防用設備の総合点検 <u>無負荷運転方式による自家発電設備の負荷運転を実施すること</u>	1回 / 1年
水道法	貯水槽設備の点検清掃、簡易水道検査 受水槽の有効貯水槽が10 m ³ を超えるもの	1回 / 1年

頻度は一般的な実施回数を示しているため、設備等の状況によって変わる場合があります。

(2) その他の点検

点検業務の種類	点検の実施回数 及び実施時期	点検業務の内容
放送設備保守点検	定期点検 年1回	専門技術員により、各種機器の点検及び調整を実施する。
	随時点検 必要の都度実施	故障又は破損等の発生の際、随時実施する。
ポンプ類設備保守点検	定期点検 年4回	専門技術員により、各種機器の点検及び調整を実施する。
	随時点検 必要の都度実施	故障又は破損等の発生の際、随時実施する。
電動式シャッター保守点検	定期点検 年1回	専門技術員により、機器の点検及び調整を実施する。 動作確認により異音の発生、動作不良がないかを実地に確認する。
電光表示式スコアボード保守点検	定期点検 年1回	専門技術員により、操作用パソコンとの連動の状況及び表示内容の点検を実施する。 また、メインスコアボードとサブスコアボードの表

		示内容の一体性についても実地に検証する。
--	--	----------------------

2 消耗品等の交換

各種機器に使用されている消耗品については、点検業務実施時において、動作状況を入念に確認するとともに、損耗程度、耐久時間等に応じた交換を実施すること。

3 補足事項

(1) 各種設備の保守点検業務の実施にあたっては、作業実施の時間帯等、施設利用者への影響を考慮したうえで実施すること。

(2) 保守点検業務における作業中に発生した事故等については、教育委員会への報告及び復旧作業を速やかに実施すること。

なお、この際の復旧作業に要する費用等については、指定管理者の負担において実施すること。

(3) 保守点検等の実施にあたっては、専門的知識及び技術を有する者を適切に配置した上で行うこと。

(4) 上記「1 機械設備等保守点検」にあげた項目のほか、設備等の維持管理において、関係法令を順守し、適宜必要な保守点検等を実施すること。

4 相模原球場における設備・機器等概要

区 分	施 設 ・ 機 器	規格・構造・数量等
内野スタンド	鉄筋コンクリート造 3階建て 一部鉄骨屋根	1階部分 4,768㎡
		2階部分 4,060㎡
		3階部分 3,783㎡
		屋根部分 900㎡
	内野席 8,064席	スタンド床(最高列の高さ) 13.38m
		スタンド床(最前列の高さ) 3.22m
	外壁	コンクリート打放し、吹付けタイル、一部磁器質タイル
	スタンド床	ポリウレタン樹脂系塗膜防水
	コンコース床	せり器質タイル
	バックネット	ステンレス製(12m×5.2m)
外野スタンド	観客用椅子	F R P 製成形品
	コンクリート擁壁 盛土	6,054㎡
	外野席(8,000人収容)	天然芝(コーライ芝)
	外側擁壁	高さ 2.7m～5.2m
	内側擁壁	高さ 1.0m～3.2m
	外野スタンド内部フェンス(グラウンド側)	高さ 2.2m

	外野スタンド内 トイレ	男子トイレ 57 m ² 女子トイレ 42 m ²
	ファウルポール	高さ10 m 2本
グラウンド照明	照明塔	6基 鉄骨造 高さ38 m
		1基 66灯(合計396灯)
		メタルハライドランプ 252灯
		高圧ナトリウムランプ 144灯
		バッテリー間 1,200ルクス
		内 野 1,000ルクス
		外 野 600ルクス
スコアボード	鉄筋コンクリート造 3階建て	1階部分 62 m ²
		2階部分 128 m ²
		3階部分 128 m ²
グラウンド	内 野	クレー(混合土:黒土6+砂4)
	外 野	天然芝(コーライ芝)
	デッキサークル・コーチャーボックス	全天候ウレタン舗装
	散水設備	散水設備一式
	排水設備	排水設備一式
その他の設備	ライト側外便所	地上1階建て 49.50 m ²
	レフト側外便所	地上1階建て 49.50 m ²
	冷暖房設備	事務室(90 m ²)、本部室(30 m ²)、 放送・記録室(45 m ²)、記者室(45 m ²)、会議室(140 m ²) ボイラ: SHOWA BS-35
	受水槽	7 t × 2 タンクレス方式
	機械換気設備	電気室、発電機室、機械室、記者室、 体育室、トイレ、シャワー室
	電気設備関係	受電変電設備 650 KVA 自家発電設備 100 KVA 放送設備 (1)一般放送設備 1,440 W (2)非常放送設備 480 W

	電動式シャッター	18カ所
	時計設備	親時計、4回線
	自動火災報知設備	複合盤、火報 25L、連動 5L
	電話・インターホン設備	電子式交換機10 / 16回線
	水道設備	V L G P 50ほか
	下水設備	H P 150ほか
	ガス設備	P L P 100
	衛生設備	衛生設備一式
	高圧引込	ケーブルハンドホール 高圧引込一式
	強電配管	F E Pハンドホール 強電配管一式
	弱電配管	F E Pハンドホール 弱電配管一式
	操作・制御設備	操作盤・制御盤 操作制御設備一式
	雨水浸透施設	人孔11基、透水管279m
	電線	電気室から照明塔まで一式
	防球フェンス	防球フェンス 高さ1.2m・延長253m
その他の設備	フェンス	フェンス 高さ1.5m・延長309m
	ラバーフェンス	ラバーフェンス(316㎡)
	サブスコアボード	サブスコアボード一式 (内野スタンド大屋根下)
	旗竿	旗竿 5本
	球場案内板	球場案内板 5個
	掲示板	掲示板 5個
	出入口表示板	出入口表示板 6個

グラウンド等維持管理業務

1 芝の維持管理ガイドライン

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生育状況	高麗芝	萌芽期	上昇期	旺盛期	旺盛期	旺盛期	旺盛～下降期	停滞期	停滞～休眠期	休眠期	休眠期	休眠期	休眠期	
作業	回数・詳細・状態	やや不良	徐々に上昇	良好	良好	良好	良好	徐々に低下	やや不良	不良	不良	不良	不良	
刈込み	回数	1	2	3	4	4	4	3	1					22
	刈高	25 mm	25 mm	25～20 mm	20 mm	20 mm	25～20 mm	25 mm	25 mm					
散水		1	4	4	4	8	6	4	2					33
エアレーション	コアリング			1										1
	パッチカル												1	1
	スパイクング他						1							1
目砂散布	2 mm程度			1									1	2
施肥	粒肥	1	2	2	2	2	2	2						13
	(内訳)	磷酸多												
	液肥			1				1						2
	(内訳)													
	その他	必要に応じて												
	(内訳)													
殺菌剤	回数			1			1		1					3
	内訳			ラージパッチ			葉枯・ラージパッチ		春はげ予防					
殺虫剤	回数			1			1							2
	内訳													
除草剤	回数		1					1						2
	内訳		茎葉処理					茎葉・土壌処理						
人力除草					1									1
芝補修	ディボット	1	2	3	4	4	4	4	2					24

2 芝の維持管理における注意事項

- (1) 刈高は利用条件等を加味して決定すること。
- (2) エアレーションの調整(タイン径、深さ等)は利用条件のほか、サッチの状態、目的を検討したうえで行うこと。
- (3) 粒肥の散布量は窒素量で2～4g/m²を標準とし、速効性の普通肥料の場合は極力分肥するか、液肥・緩効性肥料と組み合わせること。
- (4) 利用で生じたディボットについては、その都度砂入れ等を行うこと。
- (5) その他、施設の実情に合わせて適宜調整しながら作業を進めること。

清掃業務

1 清掃箇所及び清掃面積

別表 1「清掃面積表」を参考に清掃業務を実施すること。

なお、清掃業務実施の際には、利用者に不快の念を抱かせることのないよう、作業の時間帯や作業内容に留意すること。

2 場内清掃業務の内容

- | | |
|---------------|-----------------------|
| (1) 日常清掃 | 日常的に実施する清掃 |
| (2) 随時清掃 | 大会以外で利用した場合に、随時実施する清掃 |
| (3) 大会後清掃 | コンコース掃きゴミ処理 |
| (4) 大会後清掃 | コンコース水洗い清掃 |
| (5) 大会後清掃 | 内野スタンド掃き清掃 |
| (6) 大会後清掃 | 2 階便所・外野便所清掃 |
| (7) 定期清掃 | 床水洗いワックス塗布 |
| (8) 定期清掃 | 床水洗い清掃 |
| (9) 定期清掃 | 窓ガラススクリーニング |
| (10) トイレ消耗品補充 | トイレットペーパー、防臭剤、汚物袋等 |

3 場内清掃業務の実施時期及び回数

- (1) 場内清掃の実施日数は、別表 2「相模原球場清掃業務 月別実施日数表」のとおりとする。
- (2) 場内清掃の実施時間は、原則として、午前 7 時 30 分から午後 4 時までとする。

4 清掃業務実施上の注意事項

- (1) 高所及び通路における作業については、球場利用者の安全を確保する措置を講ずること。
- (2) 作業のために使用する水、洗剤等を球場利用者、壁面、機器、物品等に飛散しないように十分注意すること。
- (3) 作業に使用する材料等は、床・壁面を破壊する恐れのない適正かつ品質良好なものを使用すること。

別表 1 相模原市立相模原球場 清掃面積表

清掃業務の区分	業務の内容	清掃面積 (㎡)	清掃業務の実施回数
日常清掃	日常的に実施する清掃	1,819	年間 2 4 5 日
随時清掃	大会以外で利用した場合に、 随時実施する清掃	670	年間 2 4 5 日
大会後清掃	コンコース掃きゴミ処理	2,130	4 月から 1 2 月の期間 内で 2 4 回
	コンコース水洗い清掃	2,130	4 月から 1 2 月の期間 内で 2 4 回
	内野スタンド掃き清掃	6,006	4 月から 1 2 月の期間 内で 2 4 回
	2 階便所・外野便所清掃	411	4 月から 1 2 月の期間 内で 2 4 回
定期清掃	床水洗いワックス塗布	1,347	年間 2 回
	床水洗い清掃	864	年間 3 回
	窓ガラスクリーニング	347	年間 3 回

別表 2 相模原球場清掃業務 月別実施日数表

業務実施の月	清掃業務実施日数	清掃休業日数
4 月	2 5 日	5 日
5 月	2 6 日	5 日
6 月	2 6 日	4 日
7 月	2 6 日	5 日
8 月	2 7 日	4 日
9 月	2 5 日	5 日
1 0 月	2 5 日	6 日
1 1 月	2 3 日	7 日
1 2 月	1 7 日	1 4 日
1 月	5 日	2 6 日
2 月	4 日	2 4 日
3 月	1 6 日	1 5 日
合 計	2 4 5 日	1 2 0 日

相模台公園の指定管理者が行う業務及び管理の実施基準

1 相模台公園の管理に関する仕様書「3(1)～(3)運営業務」関連

本表に掲げる頻度については、最低限とする。

業 務 の 内 容			頻度等			
大分類	概 要		小分類	数量・範囲	頻度	備考
公園全般の運営	ア	平等利用の確保	利用者の平等・公平を図る。			
	イ	職員体制の確立	事務室には業務に支障のないよう、常時1名以上の施設全般を把握している職員を配置し、運営にあたる。ただし、土・日曜日及び祝日等においては、多数の利用者が来場しても対応可能な職員体制を構築する。			
	ウ	利用者等のニーズの把握	利用者や地域住民のニーズを的確に把握し、質の高いサービス提供等、施設管理への反映を図る。	利用者満足度調査	1回/年以上	
	エ	要望・苦情対応	迅速な対応を取り適切な処理を行う。			
	オ	情報提供	窓口には施設案内用パンフレットや料金表などを配架し、施設情報の発信を図る。市民にイベント開催時期等の施設情報の発信を図る。			平成31年度早期に施設案内用パンフレットを作成すること。
	カ	研修の実施	職員の育成及び運営に必要な研修を実施し、常にスキルアップを図る。			
	キ	園内の巡回	随時園内を巡回し、施設の異常個所の早期発見や、不適切な利用（ノーリードでの犬の散歩、歩行喫煙や喫煙場所以外での喫煙等）を行っている者への指導を行う。			
	ク	駐車場等の整理	目的外駐車や公園周辺道路への違法駐車対策及びイベント・大会等混雑時における駐車場等の整理を行う。			
	ケ	行為の制限・禁止	相模原市都市公園条例第3条及び第5条を良く理解し、禁止行為を見つけた際には注意を行うとともに、行為の制限については、必要に応じて手続き等の説明を行う。			
	コ	行為の制限の解除に関する受付・連絡調整	相模原市都市公園条例第3条に基づく行為の制限の解除に関する受付及び市との連絡調整を行う。			
	サ	利用の禁止・制限	相模原市都市公園第6条により、やむを得ないと認められる場合には、区域を定め、利用の禁止又は制限を行う。			

	シ	業務報告・連絡調整	管理日誌の作成及び日々の利用状況等の報告資料の作成。 業務処理状況の記録及び毎月の報告書の提出。 事故・災害等緊急事態が発生した場合における迅速、適正な対応・ 処理及び報告を行う。 警報発令時における警戒配備態勢の設置。（災害時業務マニュアル を参考）	管理日誌の作成・報告		毎日	
				苦情処理対応や要望処理状況 の記録・報告		随時	提出は、月毎
				事故・災害時の対応		随時	
				急病・犯罪等の事故報告		随時	
				自然災害時の警戒配備態勢等		随時	
	ス	利用者のサービスの増進	公園利用者の利便性を図ることを目的に自動販売機などを設置する こと。 ただし、別途、指定管理者には、設置に係る市への許可申請及び許 可にともなう使用料の負担が必要。				現在の受託者に自動販売機の設置を 許可している。
運動施設の運営	ア	利用承認・予約管理・受付	テニスコート・野球場の申請受付は、原則としてSネットにより行う が、Sネット未登録者については窓口にて利用承認を行っている。 大会等の際の専用利用については、利用者が指定管理者に申請書を 提出し、指定管理者が承認を出すこと。 当日の利用受付にあたっては、予約一覧表を毎朝業務用端末より打 ち出し、利用者の来園に備える。 雨天等で利用できなかった予約については、還付のための処理を行 う。 施設の管理上適当でないと認められるものがあるときは、法・条例 に基づき、その入場を拒み、又は退場させるなどの対応を取るこ と。	利用承認		随時	有料公園施設（一般・専用）
				当日の受け付け		随時	
				還付処理（還付の決定は含ま ない）		随時	
				入場の制限		随時	
	イ	使用料徴収・納付	使用料の徴収は、原則としてSネット業務端末を利用して行う。 当日予約者及び引き落とし不能者の使用料については窓口徴収とす る。 徴収した現金については、市の公金管理基準に従った管理を行い、 金融機関の非営業日等を除き、原則として毎日納付する。	使用料徴収		随時	
				銀行への納付		5回/週	
	ウ	大会等実施の協議・調整	公園管理者として、必要備品の準備、他の利用者への案内や安全確 保等について配慮するとともに、大会主催者と協議・調整を行う。			随時	
	エ	体育の日無料開放の実施	市との共催事業として、毎年、体育の日はテニスコートを一般利用に充 て、施設を無料で開放すること。なお、市は当該事業に係る施設使 用料に相当する金額の補償は行わない。			1回/年	
提案	ア	施設の供用時間の変更	施設の運営の中で生じた提案については、市に対して提案すること ができる。 指定管理者の判断により、公園の設置目的及びスポーツ振興計画に のつとめた事業（教室）を行うことができる。				
	イ	事業の実施・利用促進方策					
	ウ	その他、公園の運営に関する事項					

2 相模台公園の管理に関する仕様書「4(2)～(4)維持管理業務」関連

本表に掲げる頻度については、最低限とする。

業務の内容				頻度等			
大分類		概要		小分類	数量・範囲	頻度	備考
清掃・点検等施設の維持管理	ア	管理事務所の管理	施設や設備を常に正常に保持し、適正な利用に供するように随時点検を行い、必要に応じて補修や修繕を行うこと。 点検や修繕の際には、利用者の安全確保を行うこと。 利用者が訪れる場所は、毎日清掃を行い、埃などが溜まらないようにすること。 定期清掃では、窓ガラスの清掃、床のワックスがけ、照明、ブラインドの清掃も行うこと。 自動体外式除細動器（AED）を配備すること。	点検	1箇所	随時	1階建：1棟 （管理事務所）
				鍵施錠・開錠		毎日	
				日常清掃		毎日	
				定期清掃		年2回	
				自動体外式除細動器(AED)の配備	1台	通年	・AEDは、定期的に作動チェック等のメンテナンスを行い、電池・パッド等の消耗品について必要に応じて交換すること。 ・職員に対してAEDの使用方法や、救急救命の研修を含めた訓練を行うこと。
	イ	トイレの管理	便器、床、洗面台に汚れや垢等が残らないようにすること。また、臭気も残らないようにすること。 トイレットペーパー、防臭剤、水石鹸等の衛生材料は欠かすことがないように補充を行うこと。	点検	1箇所	1回/日	屋外：1箇所
				鍵施錠・開錠		毎日	
				清掃		毎日	
				ペーパー交換		随時	
	ウ	水飲み場の管理	常に衛生的に保たれるようにする。	清掃・点検	1箇所	毎日	
	エ	手洗い場の管理	常に衛生的に保たれるようにする。	清掃・点検	1箇所	毎日	
	オ	園路・広場等園内の管理	施設や設備を常に正常に保持し、適正な利用に供するように随時点検を行い、必要に応じて補修や修繕を行うこと。 点検や修繕の際には、利用者の安全確保を行うこと。 園内のゴミ拾いを行うこと。その際に落葉等も清掃すること。 落葉等については、随時掃き集める（清掃を行う）こと。	点検		毎日	
				園内清掃		毎日	
	カ	ベンチの管理	施設及び設備を正常に保持し、適正な利用に供するよう日常的に点検を行い、必要に応じた部品交換や施設の補修・修繕を行うこと。	点検・修繕	17基	随時	
	キ	遊戯施設の管理	遊具については、「都市公園における遊具の安全確保に関する指針（改定第2版）」（平成26年6月国土交通省）及び「遊具の安全に関する基準」（2014年6月 一般社団法人日本公園施設業協会）に基づき点検を行う。砂場については、定期的な耕耘及び砂補充を行い、犬・猫糞尿対策を講じること。	点検	9基	随時	ブランコ：1基、スベリ台：1基 ラダー：1基、砂場：1基 バネ遊具：3基、プレイウォール：1基 複合遊具：1基

運動施設の維持管理	ク	樹・排水溝の管理	側溝・集水樹・浸透樹等の性能を回復するため、溜まったゴミや土砂等は取除く。落葉期間に外周道路の落ち葉を清掃する。	点検		4回/年	
				清掃		随時	
	ケ	作業用具の手入れ	用具等は常に必要な手入れを施し、物置内の整理整頓をする。			随時	
	コ	駐車場・駐輪場の管理	日常点検及び大会開催時の利用者整理等。 目的外駐車や公園周辺道路への違法駐車対策。 放置自転車及び放置車両については、盗難届け及び防犯登録を所管の警察署に確認後報告すること。	日常点検		毎日	第1駐車場：17台 駐輪場：2箇所（25台）
				鍵施錠・開錠	1箇所	毎日	
				閉鎖時間告知看板の交換		随時	
				違法駐車対策		随時	
				放置自転車届出事務		随時	
	サ	保守点検	関係法令の基準に従い法定・定期・日常点検等の状況を常に把握し作業にあたること。 時計については、毎日時報等で確認し、正確性を保つこと。	放送設備の保守点検	1式	1回/年	
				園内灯保守点検	6基	随時	
				時計台	1基	随時	野球場・管理事務所
	ア	テニスコートの管理	日常管理及び定期整備。 利用に際し、利用者が快適に利用できるように、施設の状態には常に気を配り、必要に応じて適正な管理を行うこと。	点検	2面	1回/日	1日の供用開始前に行う。
				コートへのブラシがけ	2面	1回/日	1日の供用終了後に行う。
				砂の補充	2面	随時	ブラシがけと併せて行う。
	イ	テニスコートの維持補修業務	指定管理期間中に2回以上、クレイテニスコートの維持補修（不陸整正、転圧、コートラインの更新、荒木田土の補充等）を実施すること。テニスコートの管理に十分な実績を持つ専門の業者への委託等により実施すること。		全面		平成32年度及び平成35年度を目処に、実施すること。利用者への影響を考慮し、休場日等を活用して行うこと。
	ウ	軟式野球場の管理	日常管理・定期整備・芝生の管理 利用に際し、利用者が快適に利用できるように、施設の状態には常に気を配り、必要に応じて適正な管理を行うこと。 冬期整備については、利用に配慮しながら内野部分について行う。	点検	1面	1回/日	供用期間のみ、供用開始前に行う。
				ライン引き・トンボがけ	1面	5回/日	供用期間のみ、各コマの供用前に行う。
				晴天時の水撒き	1面	随時	周辺宅地への砂の飛散の防止。
				不陸整正	1面	4回/月	
				砂補充及び転圧	1面	随時	
				芝刈り	1面	1回/月	芝の生育の早い夏は、多目に行う。

	エ	軟式野球場の維持補修業務	指定管理期間中に1回以上、内野グラウンドの維持補修（混合土の入替、不陸整正、転圧、ベース交換、スポーツポイントの設置等）を実施すること。野球場等の管理に十分な実績を持つ専門の業者への委託等により実施すること。		1面		平成33年度を目処に、実施すること。利用者への影響を考慮し、冬季閉鎖期間等を活用して行うこと。
樹木等の育成管理	ア	樹木の管理	倒木等で公園利用者の安全が脅かされないようにするため、高木・中木の剪定、伐採や頭詰めについては、年度ごとの計画を策定し、それに基づき計画的に実行していくこと。 剪定等については、針葉樹の場合は萌芽力を損なわないように芽摘みを行い、花木類の場合は、花芽分化の時期に注意すること。 枯枝、折枝、建築限界を侵して人や車に接触するおそれのある低い枝（危険枝）、公園利用者等の視界を妨げる枝（支障枝）、病害虫に侵され、治癒や駆除ができない枝（病虫害枝）等については、年度計画問わず、その危険度合いにより、出来るだけ速やかに対応をすること。 植栽については、定期的に刈り込みを行うこと。 害虫等が発生した際に散布する薬剤は、農薬取締法上で人畜無害及び魚毒性の低いもので、腐食性・引火爆発性のない安全性が高いものを使用し、関係法令に従って実施すること。	剪定（高木）	約170本	随時	管理上の支障枝について適宜実施。
				剪定（中木）	約308本	随時	管理上の支障枝について適宜実施。
				刈込（低木・たま物・生垣）	約230㎡	随時	雑木・低木：25本
				枯損木の撤去		随時	
				病虫害防除		随時	「住宅地等における農薬使用について」に従い実施する。
	イ	その他園内の管理	除草については、フォーク等を用い人力で根ごと除去し、機械を使用する場合は肩掛式を使用すること。樹木や施設の損傷に注意しつつ、刈り残しやムラのないよう均一に刈り込み、つる性雑草も除去すること。 作業に伴って出た発生材は園内処理の場合、毎日所定の箇所に集積し、刈り後は園路等に散乱した草の清掃等を行うこと。	草刈		3回/年	機械により行う。
抜根					3回/年		
除草					3回/年		

古淵鵜野森公園の指定管理者が行う業務及び管理の実施基準

1 古淵鵜野森公園の管理に関する仕様書「3(1)～(3)運営業務」関連

本表に掲げる頻度については、最低限とする。

業 務 の 内 容				頻度等			
大分類		概 要		小分類	数量・範囲	頻度	備考
公園全般の運営	ア	平等利用の確保	利用者の平等・公平を図る。				
	イ	職員体制の確立	事務室には業務に支障のないよう、常時1名以上の施設全般を把握している職員を配置し、運営にあたる。ただし、プール開場期間は多数の利用者が来場しても対応可能な職員体制を構築する。				
	ウ	利用者等のニーズの把握	利用者や地域住民のニーズを的確に把握し、質の高いサービス提供等、施設管理への反映を図る。	利用者満足度調査		1回/年以上	
	エ	要望・苦情対応	迅速な対応を取り適切な処理を行う。				
	オ	情報提供	窓口に施設パンフレットや料金表などを配架し、施設情報の発信を図る。市民にイベント開催時期等の施設情報の発信を図る。				平成31年度早期に施設案内用パンフレットを作成すること。
	カ	研修の実施	職員の育成及び運営に必要な研修を実施し、常にスキルアップを図る。				
	キ	園内の巡回	随時園内を巡回し、施設の異常個所の早期発見や、不適切な利用（ノードでの犬の散歩、多目的グラウンド以外でのスポーツ練習、歩行喫煙や喫煙場所以外での喫煙等）を行っている者への指導を行う。				
	ク	駐車場等の整理	目的外駐車や公園周辺道路への違法駐車対策及びイベント・大会等混雑時における駐車場等の整理を行う。				
	ケ	行為の制限・禁止	相模原市都市公園条例第3条及び第5条を良く理解し、禁止行為を見つけた際には注意を行うとともに、行為の制限については、必要に応じて手続き等の説明を行う。				
	コ	行為の制限の解除に関する受付・連絡調整	相模原市都市公園条例第3条に基づく行為の制限の解除に関する受付及び市との連絡調整を行う。				
	サ	利用の禁止・制限	相模原市都市公園条例第6条により、やむを得ないと認められる場合には、区域を定め、利用の禁止又は制限を行う。				
	シ	業務報告・連絡調整	管理日誌の作成及び日々の利用状況等の報告資料の作成。 業務処理状況の記録及び毎月の報告書の提出。 事故・災害等緊急事態が発生した場合における迅速、適正な対応・処理及び報告を行う。 警報発令時における警戒配備態勢の設置。（災害時業務マニュアルを参考）	管理日誌の作成・報告 苦情処理対応や要望処理状況の記録・報告 事故・災害時の対応 急病・犯罪等の事故報告 自然災害時の警戒配備態勢等		毎日 随時 随時 随時 随時	提出は、月毎

	ス	利用者のサービスの増進	公園利用者の利便性を図ることを目的に自動販売機などを設置すること。 ただし、別途、指定管理者には、設置に係る市への許可申請及び許可にともなう使用料の負担が必要。				現在の受託者に自動販売機の設置を許可している。
運動施設の運営	ア	屋外水泳プールの利用承認・予約管理・受付	一般利用者に対しては、券売機により、入場券を交付する。また、専用利用は、利用者が指定管理者に申請書を提出し、指定管理者が利用承認を出すこと。 施設の管理上適当でないと認められる者があるときは、法・条例に基づき、その入場を拒み、又は退場させるなどの対応をとること。	利用承認等		随時	
				入場の制限		随時	
	イ	屋外水泳プールの使用料徴収・納付	一般利用の使用料の徴収は自動券売機により行う。 専用利用の使用料の減免・還付は市が行う。 一般利用者の使用料減免については、相模原市都市公園条例施行規則に従い所定の入場券を交付する。 徴収した現金については、市の公金管理基準に従った管理を行い、金融機関の非営業日等を除き、原則として毎日納付する。	使用料徴収		随時	
				銀行への納付			
	ウ	屋外水泳プールの専用利用時における協議・調整	プール管理者として、必要備品の準備、他の利用者への案内や安全確保等について配慮するとともに、専用利用者と協議・調整を行う。				
	エ	屋外水泳プール供用時の監視	プール供用時は、「３ 古淵鶴野森公園屋外水泳プール監視実施基準」に基づき監視員を配置し、利用者の安全や事故発生時の迅速かつ適切な対応に万全を期すること。				
	オ	多目的グラウンドの運営	供用日及び供用時間にグラウンド利用が可能な状態にすること。 団体登録の受付等を行うこと。 専用使用の抽選、申し込み受付及び承認を行うこと。 事故発生時等の迅速かつ適切な対応に万全を期すること。	鍵施錠・開錠		供用日	【専用使用できる時間】 日曜日・祝日の午前・午後、並びに火曜日・木曜日・土曜日の午後で１回の使用時間は２時間
				団体登録の受付・取消し		随時	
				一般専用使用の抽選		1回/月	
				専用使用申込の受付・承認		随時	
				事故発生時の対応		随時	
	カ	周辺施設等との調整	プール供用時は、混雑による周辺交通への影響も考えられるため、適宜周辺施設等との調整を行い、安全かつ円滑な運営を図ること。				
提案	ア	施設の供用時間の変更	施設の運営の中で生じた提案については、市に対して提案することができる。 指定管理者の判断により、公園の設置目的及びスポーツ振興計画にのっとった事業（教室）を行うことができる。				
	イ	事業の実施・利用促進方策					
	ウ	その他、公園の運営に関する事項					

2 古淵鵜野森公園の管理に関する仕様書「4(2)～(4)維持管理業務」関連

本表に掲げる頻度については、最低限とする。

業務の内容				頻度等		
大分類	概要		小分類	数量・範囲	頻度	備考
清掃・点検等施設の維持管理	ア	管理事務所の管理	点検	1箇所	随時	1階建：1棟 / 334.5 m ² (管理事務所)
			鍵施錠・開錠		毎日	
			日常清掃		毎日	
			定期清掃		年2回	
	イ	トイレの管理	自動体外式除細動器(AED)の配備	1台	通年	・AEDは、定期的に作動チェック等のメンテナンスを行い、電池・パッド等の消耗品について必要に応じて交換すること。 ・職員に対してAEDの使用方法や、救急救命の研修を含めた訓練を行うこと。
			点検		1回/日	
			鍵施錠・開錠		毎日	
			清掃		毎日	
	ウ	水飲み場の管理	ベーパー交換		随時	
			点検	4箇所	毎日	
	エ	手洗い場の管理	清掃・点検	1箇所	毎日	
			清掃・点検	1箇所	毎日	
	オ	園路・広場等園内の管理	点検	24,000m ²	毎日	
			園内清掃	24,000m ²	毎日	
清掃・点検等施設の維持管理	カ	ベンチ・スツールの管理	点検・修繕	16基	随時	
	キ	遊戯施設の管理	点検	7基	随時	複合遊具1基、健康遊具2基、バネ遊具2基、バスケットゴール2基
	ク	受水槽の管理	点検 清掃	1基	随時	

運動施設の維持管理	ケ	樹・排水溝の管理	側溝・集水樹・浸透樹等の性能を回復するため、溜まったゴミや土砂等は取除く。落葉期間に外周道路の落ち葉を清掃する。	点検	-	4回/年	
				清掃		随時	
	コ	作業用具の手入れ	用具入れや倉庫等は常に必要な手入れを施し、整理整頓をする。			随時	
	サ	駐車場・駐輪場の管理	日常点検及び大会開催時の利用者整理等。 プール供用時は、誘導員の配置により目的外駐車や公園周辺道路への違法駐車対策を行う。 放置自転車及び放置車両については、盗難届け及び防犯登録を所管の警察署に確認後報告すること。	日常点検		毎日	駐車場：51台（内、障害者用2台） 駐輪場：1箇所（管理事務所脇） 施錠箇所：駐車場、トイレ、グラウンド
				鍵施錠・開錠	6箇所	毎日	
				閉鎖時間告知看板の交換		随時	
				違法駐車対策		随時	
				放置自転車届出事務		随時	
	シ	保守点検	関係法令の基準に従い、法定・定期・日常点検等の状況を常に把握し作業にあたること。 時計については、毎日時報等で確認し、正確性を保つこと。 古淵鵜野森公園の建築物は特定建築物に該当しないため、建築基準法第12条第2項に基づく定期調査は不要である。	放送設備の保守点検	1箇所	随時	管理事務所
				園内灯保守点検	42基	随時	
				時計	1基	随時	
				受水設備点検		1回/年	法定点検
				地下水ポンプの点検		1回/日	
	ス	管理区域周辺の市管理地に係る巡回・清掃	斜面緑地等周辺の見回りを定期的に行い、適正な状態を保つこと。	巡回・点検・清掃		随時	
	ア	屋外水泳プールの管理	毎年、プール供用期間開始前には供用部分を清掃し、関係法令等に従い、受水槽清掃や害虫等駆除を行う。受水槽への給水後は、以下の基準を満たしていることを確認すること。 ・水素イオン濃度 PH値5.8以上8.6以下 ・遊離残留塩素濃度 0.4mg/l以上 ・濁度 2度以下 ・過マンガン酸カリウム消費量 12mg/l以下 ・大腸菌 検出されないこと ・一般細菌 200CFU/ml以下 プール供用期間中は、供用部分の清掃を行い、常に清潔な状態を保つこと。 また、文部科学省及び国土交通省が定める「プールの安全標準指針」、厚生労働省の定める「遊泳用プールの衛生基準」及び「神奈川県海水浴場等に関する条例」に基づいた水質を維持すること。	供用期間前準備		1回/年	
				プール水質管理		随時	雨天等により、貸出を行わない日を除く。
				供用期間中の清掃		随時	雨天等により、貸出を行わない日を除く。

樹木等の育成管理	イ	多目的グラウンドの管理	利用者が安全に利用できるよう、施設の点検や清掃を行うこと。 故障等を発見した場合は、修繕を行うこと。 必要に応じてグラウンド整備や砂入れをし、晴天時には砂の飛散防止のために水撒きを行うこと。	点検	1面	1回/日	年末年始を除く
				清掃、除草	1面	随時	
				グラウンド整備、砂入れ転圧	1面	随時	
				晴天時等の水撒き (スプリンクラー)	1面	随時	周辺等への砂の飛散防止
	ア	樹木の管理 (憩いの森、むつみの森)	倒木等で公園利用者の安全が脅かされないようにするため、高木・中木の剪定、伐採や頭詰めについては、年度ごとの計画を策定し、それに基づき計画的に実行していくこと。 剪定等については、針葉樹の場合は萌芽力を損なわないように芽摘みを行い、花木類の場合は、花芽分化の時期に注意すること。 枯枝、折枝、建築限界を侵して人や車に接触するおそれのある低い枝(危険枝)、公園利用者等の視界を妨げる枝(支障枝)、病害虫に侵され、治癒や駆除ができない枝(病虫害枝)等については、年度計画問わず、その危険度合いにより、出来るだけ速やかに対応すること。 植栽については、定期的に刈り込みを行うこと。 害虫等が発生した際に散布する薬剤は、農薬取締法上で人畜無害及び魚毒性の低いもので、腐食性・引火爆発性のない安全性が高いものを使用し、関係法令に従って実施すること。	剪定(高木)		随時	管理上の支障枝について適宜実施。
				剪定(中木)		随時	管理上の支障枝について適宜実施。
				刈込(低木・たま物・生垣)		随時	雑木・低木
				枯損木の撤去		随時	
				病虫害防除		随時	「住宅地等における農薬使用について」に従い実施する。
						随時	市、指定管理者、アダプト団体で年に1度打合せを行う。
	イ	アダプト活動への協力	当該公園含めた近隣地区の自然環境を守るために活動を行っている、アダプト団体であるNPO法人境川の斜面緑地を守る会の活動について協力を行うこと。				
	ウ	その他園内の管理	除草については、フォーク等を用い人力で根ごと除去し、機械を使用する場合は肩掛式を使用すること。樹木や施設の損傷に注意しつつ、刈り残しやムラのないよう均一に刈り込み、つる性雑草も除去すること。 作業に伴って出た発生材は園内処理の場合、毎日所定の箇所に集積し、刈り後は園路等に散乱した草の清掃等を行うこと。	草刈	6,000㎡	3回/年	機械により行う。
				抜根	200㎡	3回/年	
				除草		3回/年	

古淵鵜野森公園屋外水泳プール監視実施基準

古淵鵜野森公園屋外水泳プールにおけるプール監視業務の基準は次のとおりとする。

1 人員配置基準

(1) 管理責任者

ア 管理責任者は、次のいずれかの資格を有する者とする。

- (ア) (公財) 日本スポーツ協会公認水泳指導員
- (イ) (公財) 日本スポーツ協会公認水泳上級指導員
- (ウ) (公財) 日本スポーツ協会公認水泳コーチ
- (エ) (公財) 日本スポーツ協会公認水泳上級コーチ
- (オ) (公財) 日本スポーツ協会公認水泳教師
- (カ) (公財) 日本スポーツ協会公認水泳上級教師
- (キ) (公財) 日本スポーツ施設協会水泳指導管理士
- (ク) (公社) 日本プールアメニティ協会プール衛生管理者

イ 管理責任者は、水泳プールの管理運営業務を総括する責任者として、安全かつ衛生的な管理運営にあたること。

(2) 監視業務従事者

ア 監視業務従事者は、心肺蘇生法ができ、次に掲げる有資格者と同等の能力を有し、500m以上の泳力者で健康的なものとする。

イ 監視業務従事者は、次に掲げる有資格者と同等の能力を有する者とする。なお、資格を有していない者は資格取得に努めること。

- (ア) (公財) 日本水泳連盟の基礎水泳指導員
- (イ) (公財) 日本スポーツ協会公認の水泳教師、水泳コーチ、水泳指導員
- (ウ) 日本赤十字社の水上安全法救助員(指導員)
- (エ) 特定非営利活動法人日本ライフセービング協会のプールライフガード
- (オ) 特定非営利活動法人日本災害救護推進協議会 A 級ライフガード

(3) 監視人員

遊泳者数、遊泳規則、水深、監視員のスキル等を踏まえ、プール全体がくまなく監視できるよう、下記を参考に適切に配置すること。

監視人数	備考
5 ポイント以上	内 1 名は監視台に配置すること 幼児用プール、スライダー含む。

ポイントとは、常時必要な監視員の人数をいう。

(4) コントロール等の業務

コントロール	全体の監視状況の掌握及び指示系統の統括及び利用者支援業務を行う。
パトロール	随時巡回行動を行い、全ウェットエリアの監視業務を行う。

(5) 監視業務従事者等の教育・訓練について

監視員等の教育・訓練については、次のア～オの内容を必ず含むようにし、オについては必要に応じて随時実施すること。

ア プールの構造及び維持管理

イ プール施設内での事故防止対策

ウ 事故発生等緊急時の措置と救護

エ 緊急事態の発生を想定した実地訓練

オ 日常業務等において従事者が経験した「ヒヤリとしたこと」、「ハッとしたこと」や「気がかりなこと」、利用者からの苦情等を題材とした事例研究

2 実施基準

プール監視業務に当たり、次に掲げる「人的監視業務」並びに「物的監視業務」を行うこと。

(1) 人的監視業務

利用者の状況を随時把握し、その異常に対して迅速かつ適切な対応を行う。また、混雑具合や開放状況によって想定される事態を予測し、監視員相互の連絡体制のもと適切な安全管理を図ること。また、利用者支援業務等による快適性を保つこと。

(2) 物的監視業務

施設及び備品の破損、設備不良を早期発見し、それに起因する事故等を防ぐこと。

3 看護業務について

供用時間中は、看護業務に従事する者として、看護師の資格を有する者を常に 1 名配置すること。

大野台南テニスコートの指定管理者が行う業務及び管理の実施基準

1 大野台南テニスコートの管理に関する仕様書「3(1)～(3)運営業務」関連

本表に掲げる頻度については、最低限とする。

業 務 の 内 容			頻度等			
大分類	概 要		小分類	数量・範囲	頻度	備考
テニスコート全般の運営	ア	平等利用の確保	利用者の平等・公平を図る。			
	イ	職員体制の確立	事務室には業務に支障のないよう、常時1名以上の施設全般を把握している職員を配置し、運営にあたる。ただし、土・日曜日及び祝日等においては、多数の利用者が来場しても対応可能な職員体制を構築する。			
	ウ	利用者等のニーズの把握	利用者や地域住民のニーズを的確に把握し、質の高いサービス提供等、施設管理への反映を図る。	利用者満足度調査	1回/年以上	
	エ	要望・苦情対応	迅速な対応を取り適切な対応を行う。			
	オ	情報提供	窓口に施設案内用パンフレットや料金表などを配架し、施設情報の発信を図る。市民にイベント開催時期等の施設情報の発信を図る。			平成31年度早期に施設案内用パンフレットを作成すること。
	カ	研修の実施	職員の育成及び運営に必要な研修を実施し、常にスキルアップを図る。			
	キ	テニスコート内の巡回	随時テニスコート内を巡回し、施設の異常個所の早期発見や、不適切な利用を行っている者への指導を行う。			
	ク	駐車場等の整理	目的外駐車やテニスコート周辺道路への違法駐車対策及びイベント・大会等混雑時における駐車場等の整理を行う。			
	ケ	利用の禁止・制限	テニスコートの運営に当たっては、法・条例に従い適正な対応を図る。			
	コ	業務報告・連絡調整	管理日誌の作成及び日々の利用状況等の報告資料の作成。	管理日誌の作成・報告	毎日	
			業務処理状況の記録及び毎月の報告書の提出。	苦情処理対応や要望処理状況の記録・報告	随時	提出は、月毎
			事故・災害等緊急事態が発生した場合における迅速、適切な対応・処理及び報告を行う。	事故・災害時の対応	随時	
			警報発令時における警戒配備態勢の設置。（災害時業務マニュアルを参考）	急病・犯罪等の事故報告	随時	
				自然災害時の警戒配備態勢等	随時	
	サ	利用者のサービスの増進	テニスコート利用者の利便性を図ることを目的に自動販売機などを設置すること。 ただし、別途、指定管理者には、設置に係る市への許可申請及び許可にともなう使用料の負担が必要。			現在の受託者に自動販売機の設置を許可している。

運動施設の運営	ア	利用承認・予約管理・受付	申請受付は、原則としてSネットにより行うが、Sネット未登録者については窓口にて利用承認を行っている。 当日の利用受付にあたっては、予約一覧表を毎朝業務用端末より打ち出し、利用者の来場に備える。 雨天等で利用できなかった予約については、還付のための処理を行う。 施設の管理上適当でないと認められる者があるときは、条例に基づき、その入場を拒み、又は退場させるなどの対応をとること。	利用承認		随時	有料テニスコート施設 (一般・専用)
				入場の制限		随時	
				当日の受け付け		随時	
				還付処理		随時	
	イ	使用料徴収・納付	使用料の徴収は、原則としてSネット業務端末を利用して行う。 当日予約者及び引き落とし不能者の使用料については窓口徴収とする。 徴収した現金については、市の公金管理基準に従った管理を行い、金融機関の非営業日等を除き、原則として毎日納付する。	使用料徴収		随時	
				銀行への納付		5回/週	
	ウ	大会等実施の協議・調整	テニスコート管理者として、必要備品の準備、他の利用者への案内や安全確保等について配慮するとともに、大会主催者と協議・調整を行う。				
	エ	体育の日無料開放の実施	市との共催事業として、毎年、体育の日はテニスコートを一般利用に充て、施設を無料で開放すること。なお、市は当該事業に係る施設使用料に相当する金額の補償は行わない。			1回/年	
提案	ア	施設の供用時間の変更	施設の運営の中で生じた提案については、市に対して提案することができる。 指定管理者の判断により、テニスコートの設置目的及びスポーツ振興計画にのっとった事業(教室)を行うことができる。				
	イ	事業の実施・利用促進方策					
	ウ	その他、テニスコートの運営に関する事項					

2 大野台南テニスコートの管理に関する仕様書「4(2)～(4)維持管理業務」関連

本表に掲げる頻度については、最低限とする。

業務の内容			頻度等				
大分類		概要	小分類	数量・範囲	頻度	備考	
清掃・点検等施設の維持管理	ア	管理事務所の管理	施設や設備を常に正常に保持し、適正な利用に供するように随時点検を行い、必要に応じて補修や修繕を行うこと。 点検や修繕の際には、利用者の安全確保を行うこと。 利用者が訪れる場所は、毎日清掃を行い、埃などが溜まらないようにすること。 定期清掃では、窓ガラスの清掃、床のワックスがけ、照明、ブラインドの清掃も行うこと。 自動体外式除細動器（AED）を配備すること。	点検	2箇所	随時	1階建：1棟 （テニスコート管理事務所）
				鍵施錠・開錠		毎日	
				日常清掃		毎日	
				定期清掃		年2回	
			自動体外式除細動器（AED）の配備	1台	通年	・AEDは、定期的に作動チェック等のメンテナンスを行い、電池・パッド等の消耗品について必要に応じて交換すること。 ・職員に対してAEDの使用方法や、救急救命の研修を含めた訓練を行うこと。	
	イ	トイレの管理	便器、床、洗面台に汚れや垢等が残らないようにすること。また、臭気も残らないようにすること。 トイレットペーパー、防臭剤、水石鹸等の衛生材料は欠かすことがないように補充を行うこと。	点検	2箇所	1回/日	屋外：2箇所 （Aコート1室、Bコート2室）
				鍵施錠・開錠		毎日	
				清掃		毎日	
				ペーパー交換		随時	
	ウ	水場の管理	常に衛生的に保たれるようにする。	清掃・点検	3箇所	毎日	
	エ	通路等の管理	日常的な点検を行い、施設の補修・修繕を行うこと。施設内（駐車場含む）のゴミを拾い、ビニール袋に入れて集積する。特に汚れている場所は熊手、竹箒等で清掃する。通路等を1回/週、清掃する。施設内で発生した落葉は市民等に配布せず、焼却処分もしくは場内処理をすること。落葉を施設内に溜める場合は、空間放射線量が高くないよう留意しつつ、適宜空間放射線量測定を行うこと。 ゴミの不法投棄が発見された場合、教育委員会に報告し、指定管理者により適法な処理を行うこと。	点検	6,129.4㎡	毎日	
				清掃	6,129.4㎡	毎日	
	オ	備品の管理	施設及び設備を正常に保持し、適正な利用に供するよう日常的に点検を行い、必要に応じた部品交換や施設の補修・修繕を行うこと。	点検・修繕		随時	
	カ	樹・排水溝の管理	側溝・集水桝・浸透桝等の性能を回復するため、溜まったゴミや土砂等は取除く。落葉期間に外周道路の落ち葉を清掃する。	点検		4回/年	
				清掃		随時	
	キ	作業用具の手入れ	用具等は常に必要な手入れを施し、倉庫内の整理整頓をする。			随時	

	ク	駐車場等の管理	日常点検及び大会開催時の利用者整理等。 目的外駐車やテニスコート周辺道路への違法駐車対策。 放置自転車及び放置車両については、盗難届け及び防犯登録を所管の警察署に確認後報告すること。	日常点検		毎日	Aコート駐車場：8台 Bコート駐車場：26台 駐輪場：約30台
				鍵施錠・開錠	1箇所	毎日	
				閉鎖時間告知看板の交換		随時	
				違法駐車対策		随時	
				放置自転車届出事務		随時	
運動施設の維持管理	ア	コートの管理	日常管理。 利用に際し、利用者が快適に利用できるように、施設の状態には常に気を配り、必要に応じて適正な管理を行うこと。	点検	4面	1回/日	供用開始前に行う。
				コートへのブラシがけ	4面	1回/日	供用終了後に行う。
				砂の補充	4面	随時	ブラシがけと併せて行う。
	イ	コートの維持補修業務	砂入り人工芝コートの砂のほぐし及び掘起しを実施すること。テニスコートの管理に十分な実績を持つ専門の業者への委託等により実施すること。		4面	1回/年	利用者への影響を考慮し、休場日等を活用して行うこと。
樹木等の育成管理	ア	樹木の管理	・倒木等で施設利用者の安全が脅かされないようにするため、高木・中木の剪定、伐採や頭詰めについては、年度ごとの計画を策定し、それに基づき計画的に実行していくこと。 ・剪定等については、針葉樹の場合は萌芽力を損なわないように芽摘みを行い、花木類の場合は、花芽分化の時期に注意すること。 ・枯枝、折枝、建築限界を侵して人や車に接触するおそれのある低い枝（危険枝）、施設利用者等の視界を妨げる枝（支障枝）、病害虫に侵され、治癒や駆除ができない枝（病虫害枝）等については、年度計画問わず、その危険度合いにより、出来るだけ速やかに対応をすること。 ・植栽については、定期的に刈り込みを行うこと。 ・害虫等が発生した際に散布する薬剤は、農薬取締法上で人畜無害及び魚毒性の低いもので、腐食性・引火爆発性のない安全性が高いものを使用し、関係法令に従って実施すること。	剪定（高木）		随時	管理上の支障枝について適宜実施。
				剪定（中木）		随時	
				剪定（藤棚）		随時	人力により行う。
				刈込（低木・たま物・生垣）		随時	
				枯損木の撤去		随時	
				病虫害防除		随時	「住宅地等における農薬使用について」に従い実施する。
	イ	植栽の管理	耕耘、整地し枯損花及び雑草等は根より掘り起こし取り除くこと。除草剤は使用しない。 施肥については、肥料法に基づく登録証明書、成分表の写しを添付する。	植栽		随時	
				施肥		随時	
				抜根		4回/年	人力により行う。
	ウ	その他施設内の管理	人力で根ごと除去。機械を使用する場合は肩掛式とする。樹木や施設の損傷に注意しつつ、刈り残しやムラのないよう均一に刈り込み、つる性雑草も除去する。	草刈		3回/年	機械により行う。
				抜根		3回/年	
				除草		3回/年	